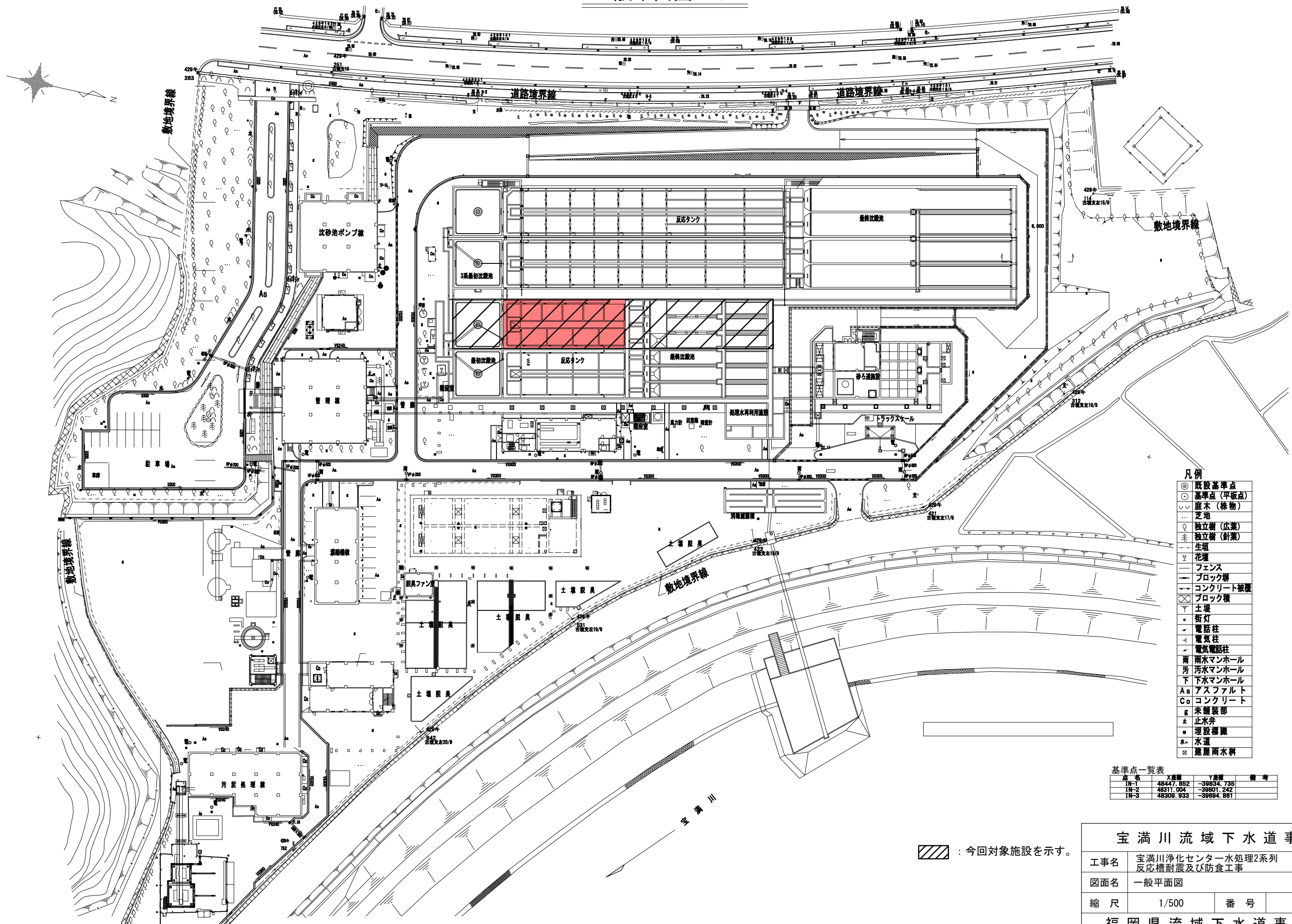


一般平面図 S=1/500



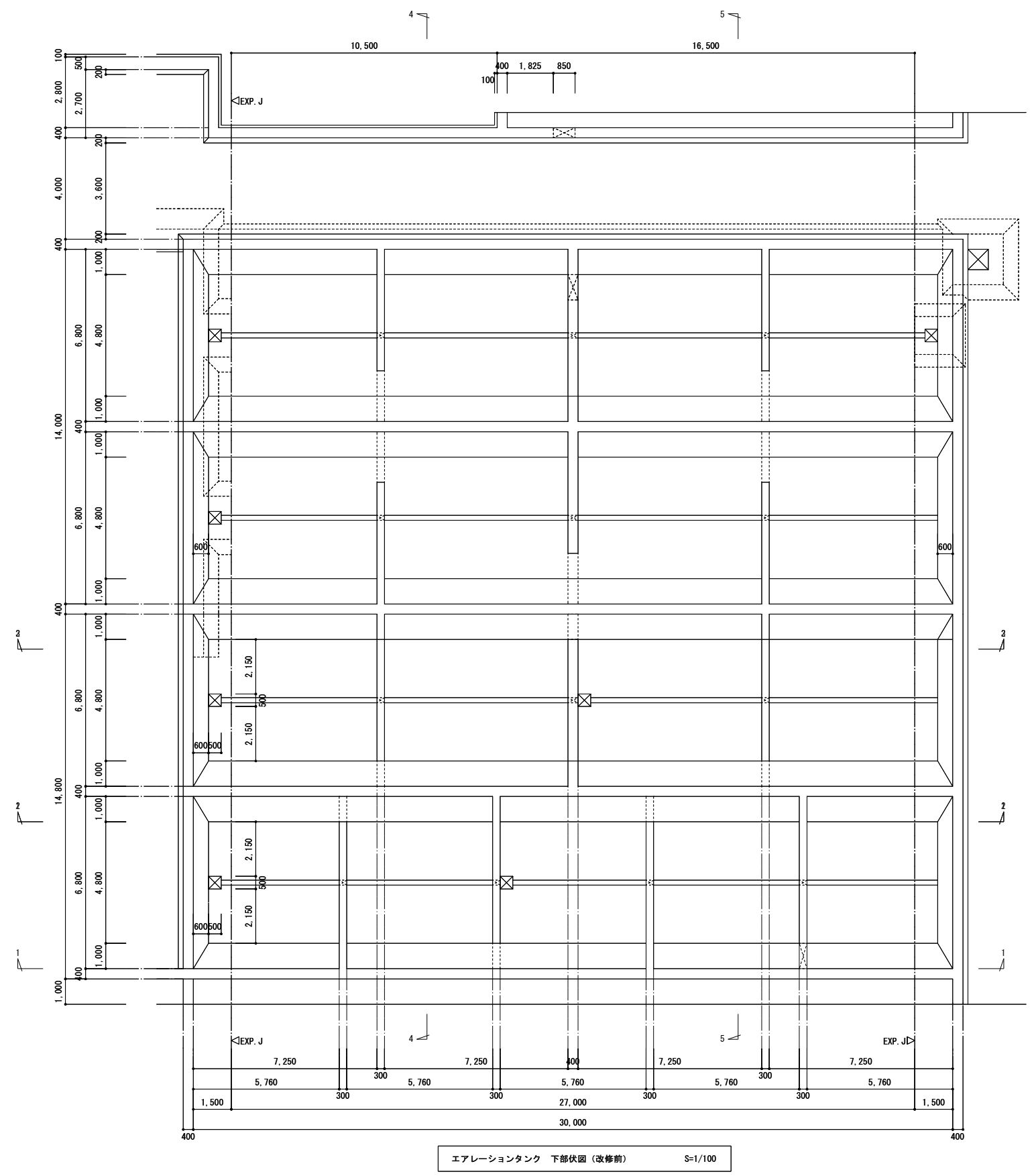
- 凡例
- ◎ 既設基準点
 - 基準点 (平板点)
 - ▽ 庭木 (株物)
 - ... 芝地
 - ◇ 独立樹 (広葉)
 - △ 独立樹 (針葉)
 - 生垣
 - 花壇
 - フェンス
 - ブロック塀
 - コンクリート被覆
 - ブロック積
 - 土堤
 - 街灯
 - 電話柱
 - 電気柱
 - 電気電話柱
 - 雨 雨水マンホール
 - 汚 汚水マンホール
 - 下 下水マンホール
 - As アスファルト
 - Co コンクリート
 - G 未舗装部
 - 止 止水弁
 - 埋 埋設標識
 - 水 水道
 - 建 建屋雨水溝

基準点一覧表

点 名	X座標	Y座標	備 考
IN-1	48447.852	-39854.735	
IN-2	48311.034	-39801.242	
IN-3	48308.933	-39694.861	

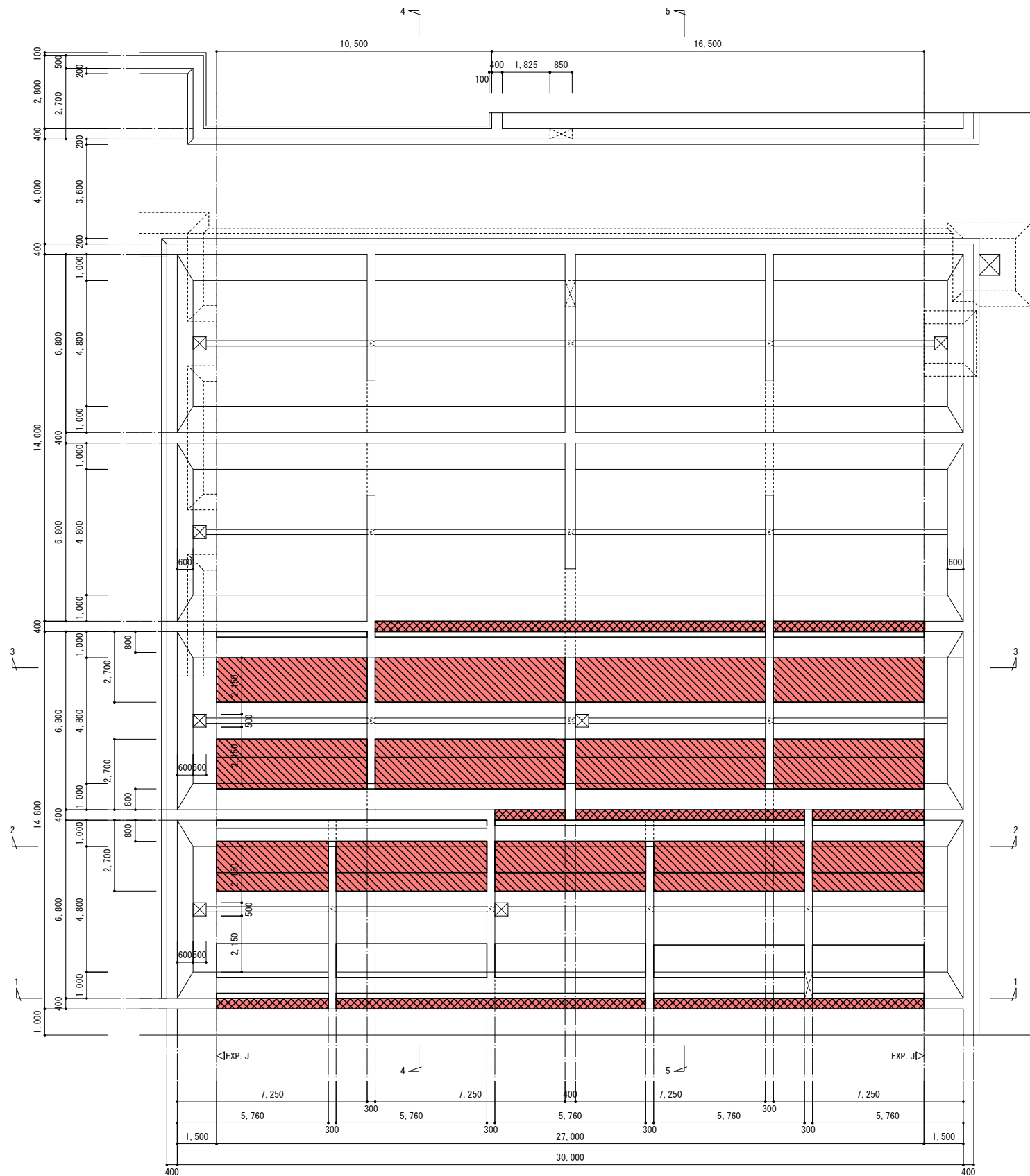
：今回対象施設を示す。

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	一般平面図		
縮 尺	1/500	番 号	1
福岡県流域下水道事務所			





宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 下部伏図（改修前）		
縮尺	1/50	番号	S-19
福岡県流域下水道事務所			

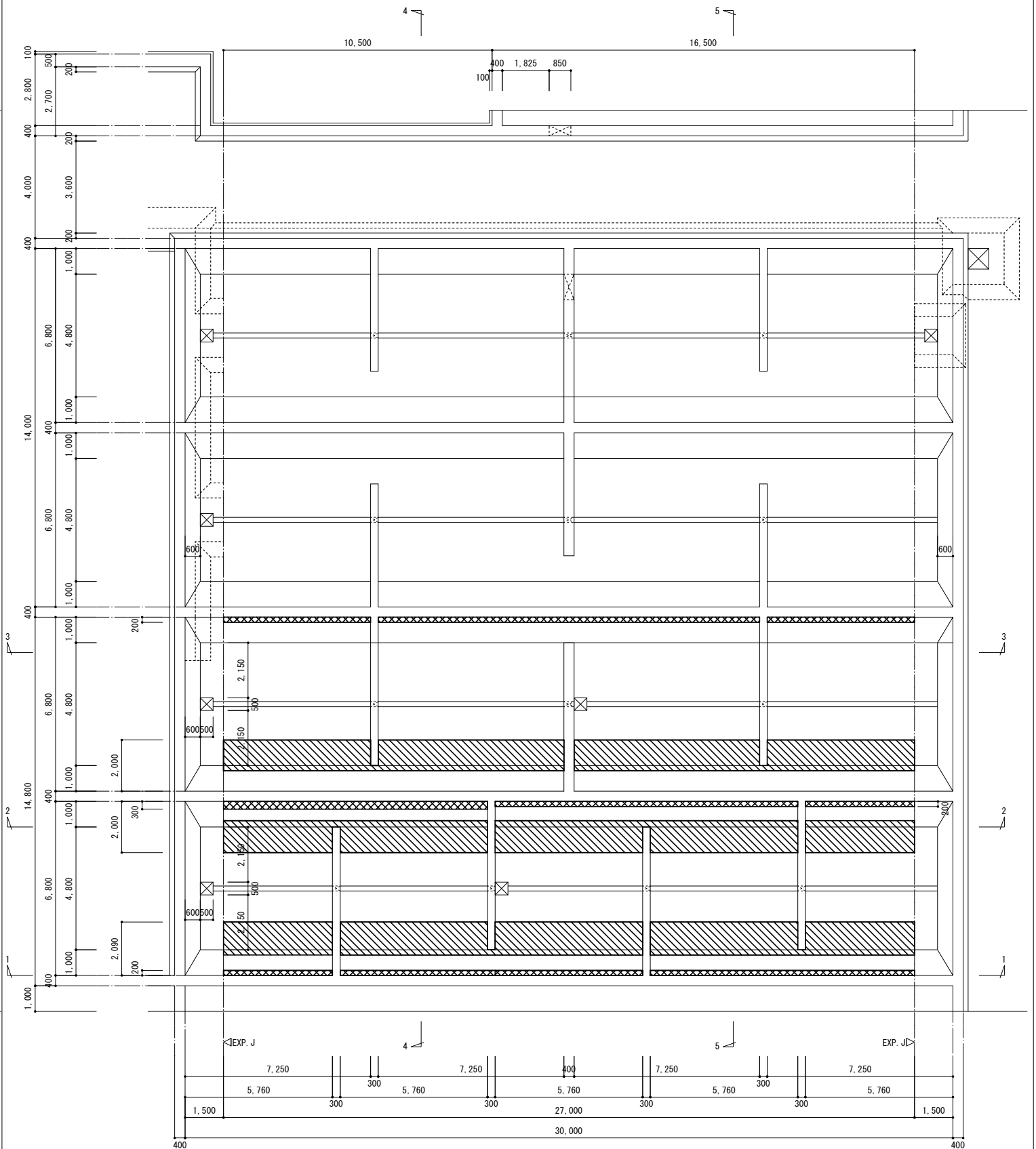
改修後



エアレーションタンク (改修後) あと施工せん断補強 S=1/100



特記なき限り

- ・  印はあと施工せん断補強(底版)の範囲を示す
- ・  印はあと施工せん断補強(壁)の範囲を示す

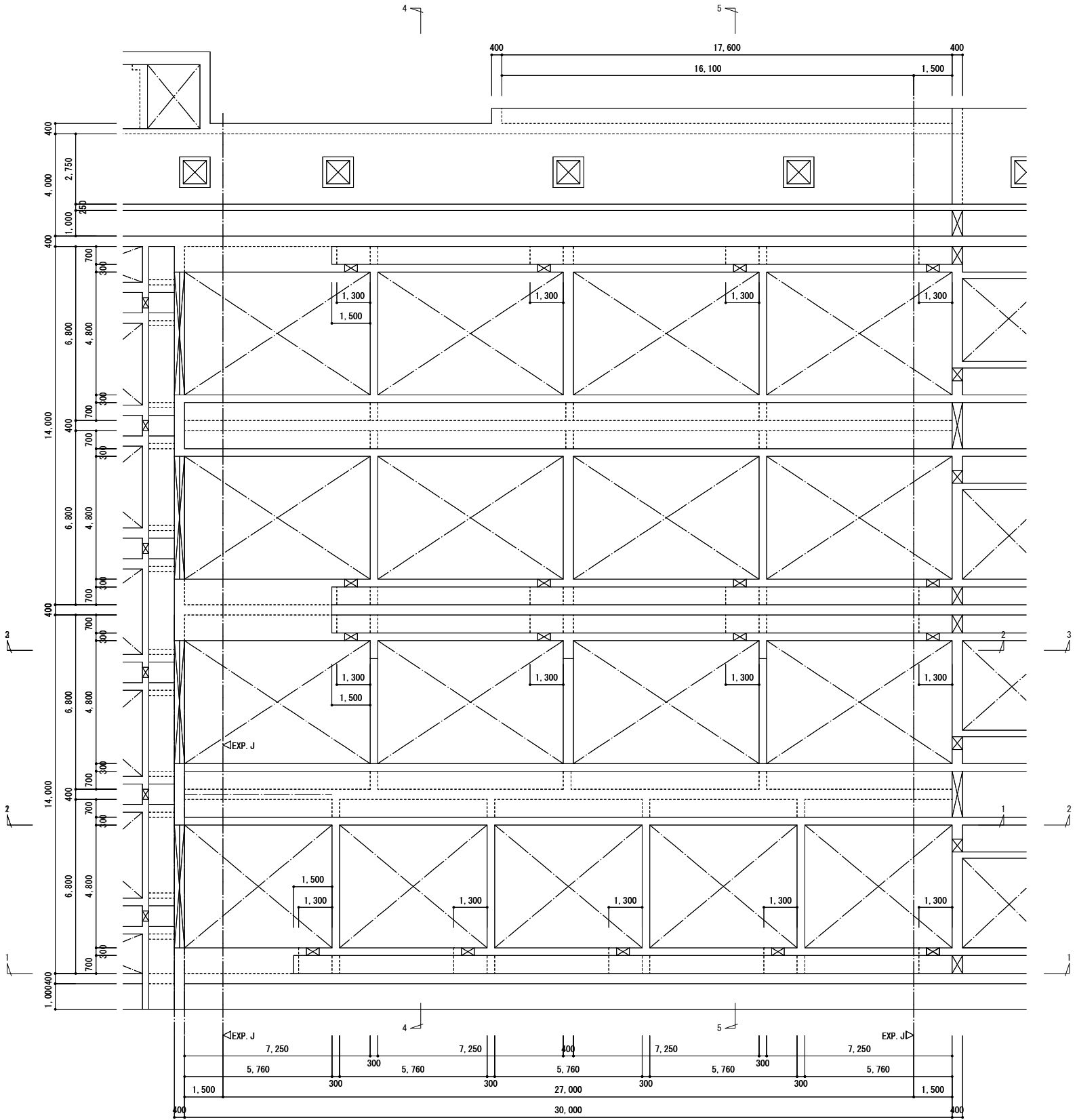


エアレーションタンク(改修後) 増打補強

特記なき限り

- ・  印は増打補強(底版)の範囲を示す
- ・  印は増打補強(壁)の範囲を示す

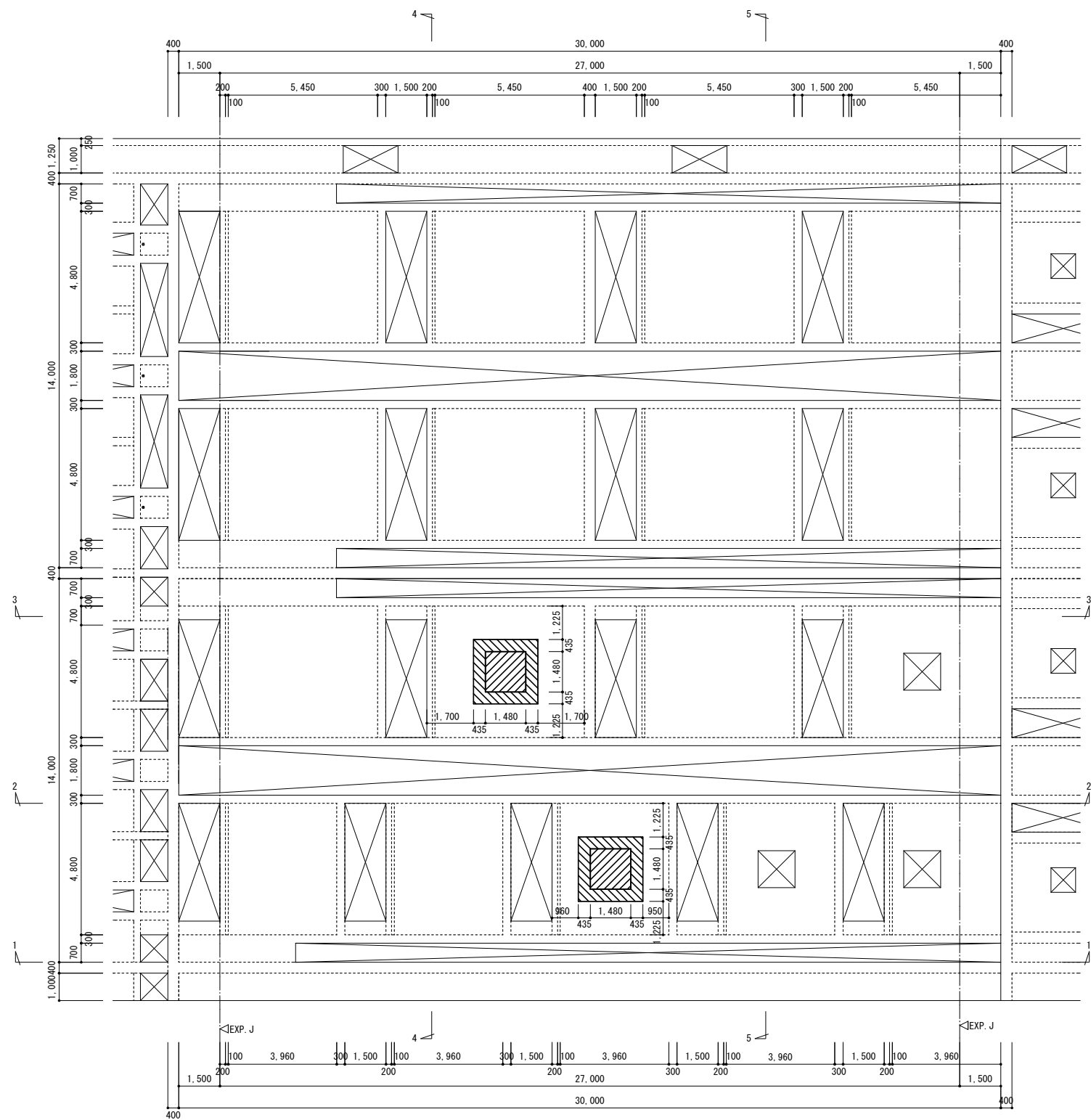
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 下部伏図（改修後）		
縮 尺	1/50	番 号	S-20
福岡県流域下水道事務所			



エアレーションタンク 水路部伏図(改修前・改修後) S=1/100

特記なき限り
・補強無し

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 水路部伏図(改修前・改修後)		
縮尺	1/50	番号	S-21
福岡県流域下水道事務所			



エアレーションタンク 上部伏図 (改修前) S=1/100

特記なき限り

・

印は既存鉄筋はつり出しの範囲を示す

・

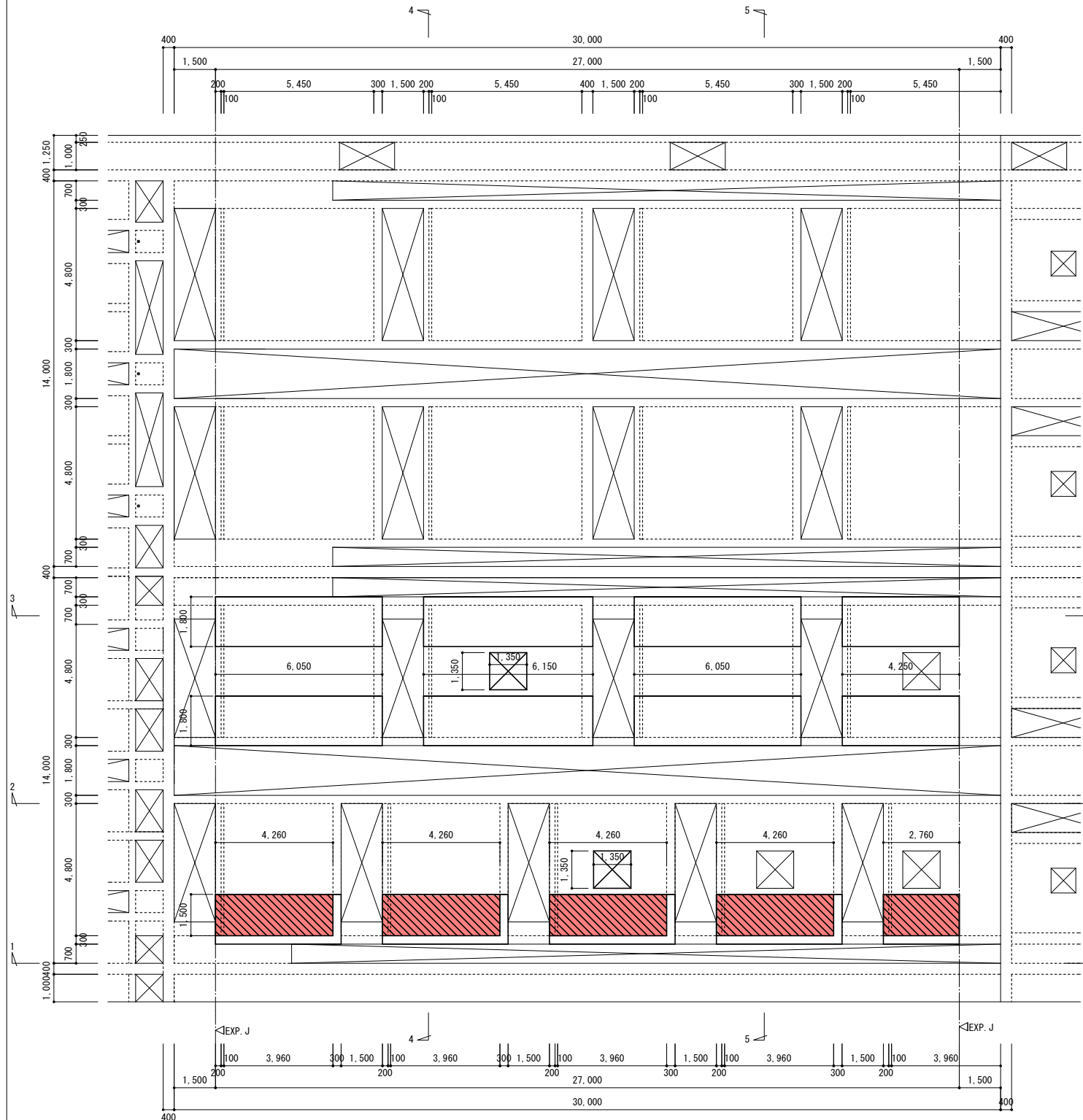
印は既存躯体撤去の範囲を示す

・

符号は既存図の符号を示す

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 上部伏図 (改修前)		
縮尺	1/50	番号	S-22
福岡県流域下水道事務所			

改修後

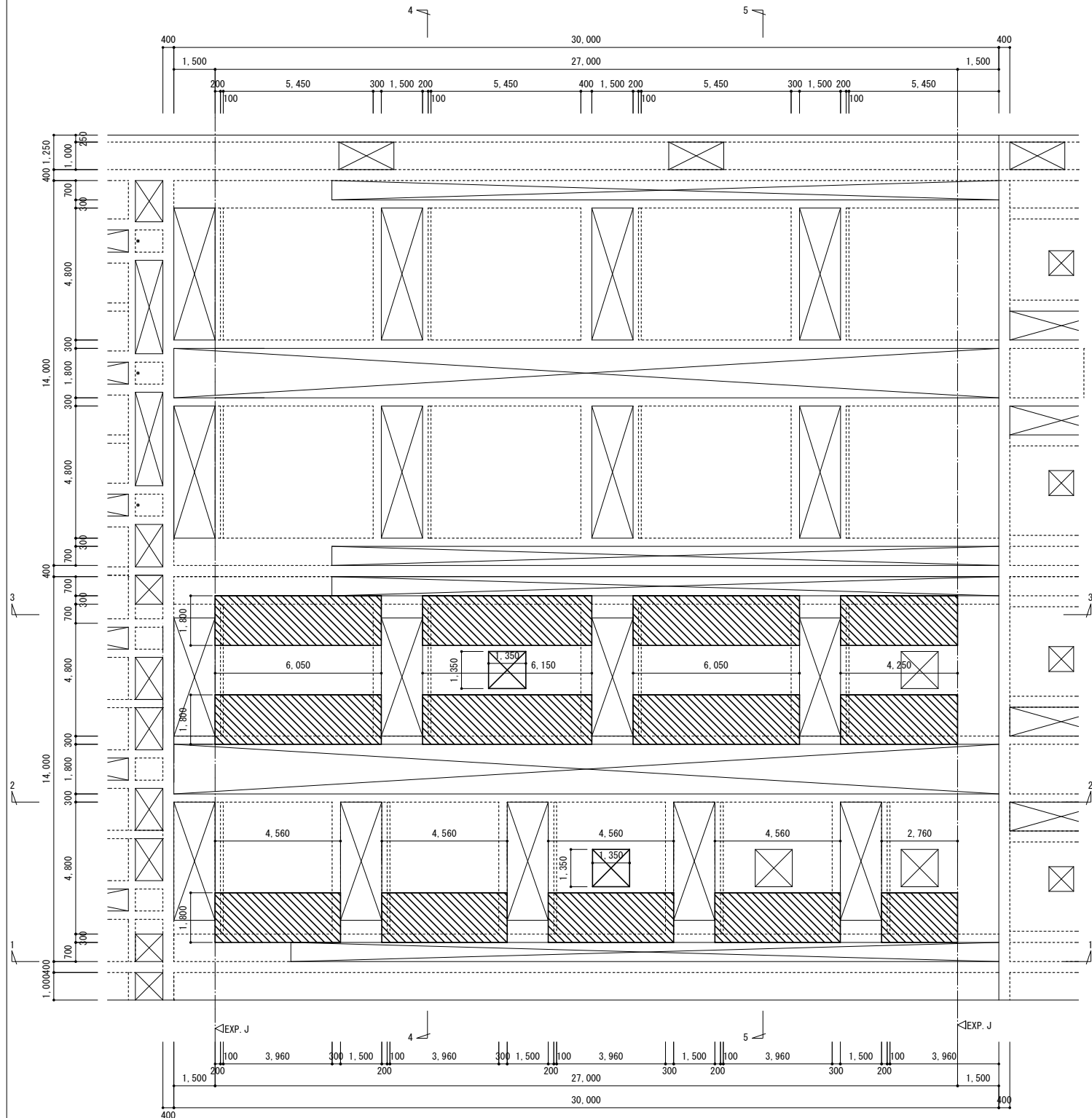


エアレーションタンク上部伏図(改修後) あと施工せん断補強 S=1/100

特記なき限り

・印はあと施工せん断補強(頂版)の範囲を示す

改修後



エアレーションタンク上部伏図(改修後) 増打補強 S=1/100

特記なき限り

・印は増打補強(頂版)の範囲を示す

宝満川流域下水道事業

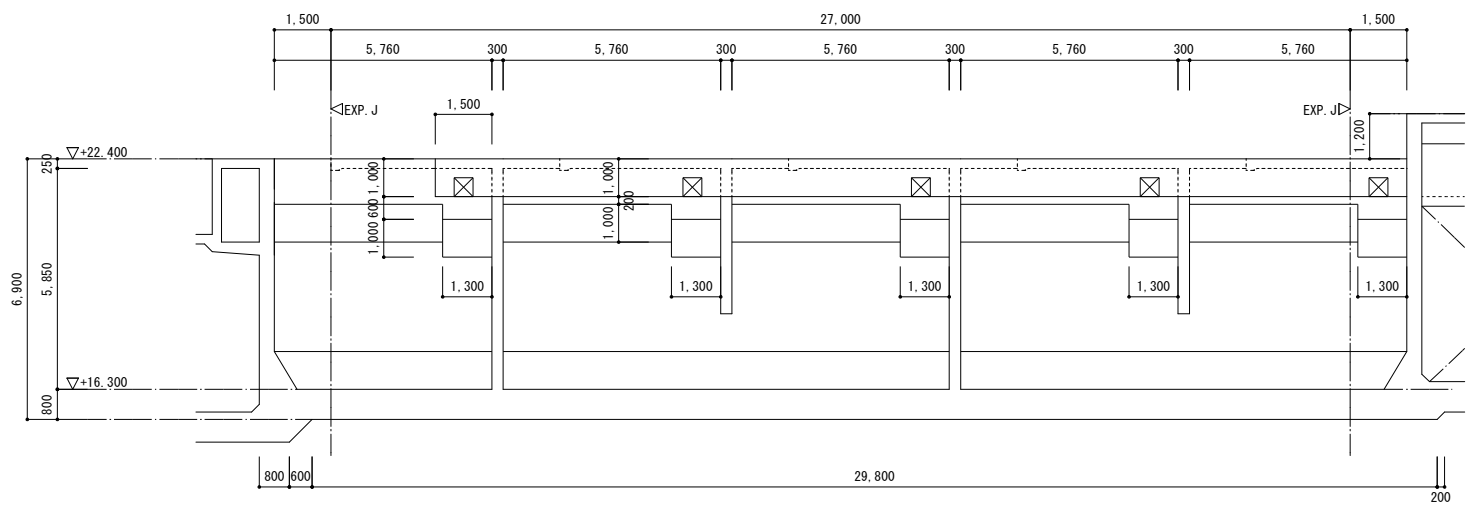
工事名 宝満川浄化センター水処理2系列
反応槽耐震及び防食工事

図面名 エアレーションタンク 上部伏図(改修後)

縮尺 1/50 番号 S-23

福岡県流域下水道事務所

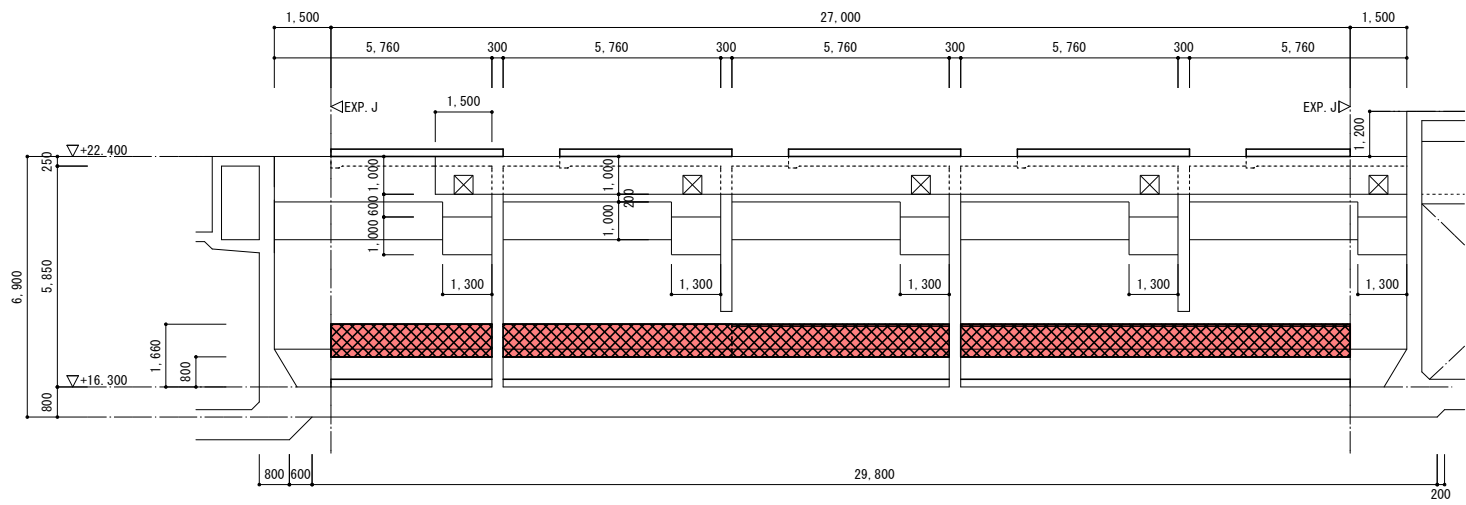
改修前



1-1断面図 (改修前)

S=1/100

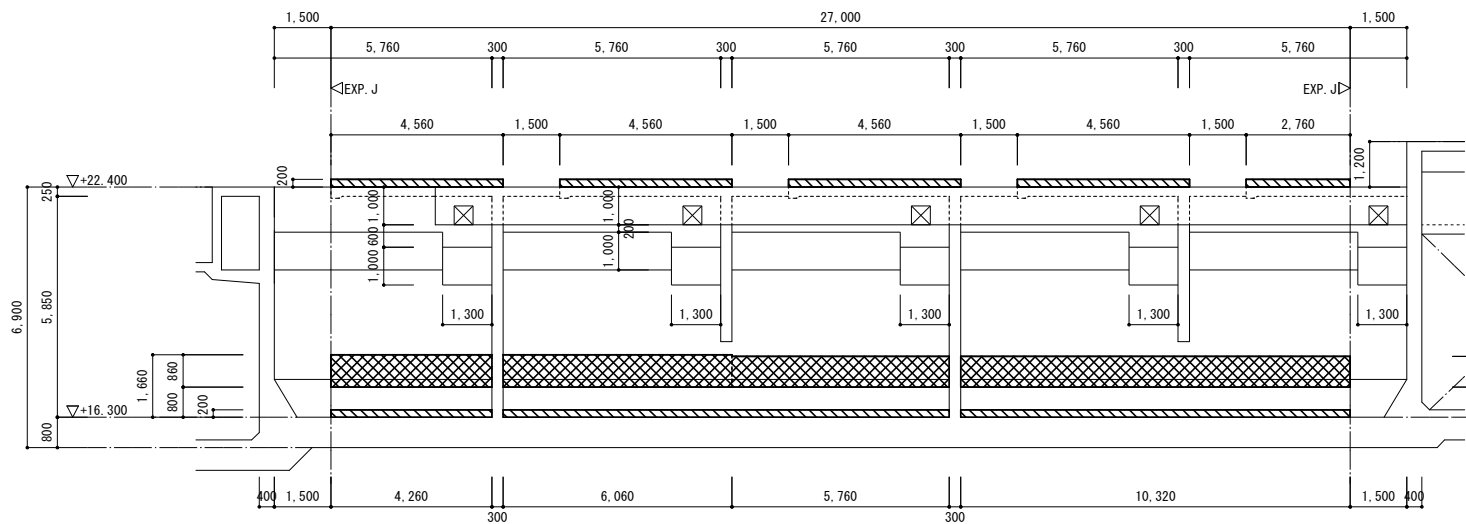
改修後



1-1断面図 (改修後) あと施工せん断補強

S=1/100

- 特記なき限り
- 印はあと施工せん断補強 (壁) の範囲を示す



1-1断面図 (改修後) 増打補強

S=1/100

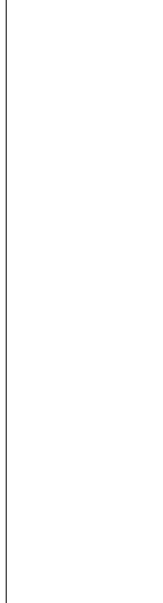
- 特記なき限り
- 印は増打補強 (底版・頂版) の範囲を示す
 - 印は増打補強 (壁) の範囲を示す

宝満川流域下水道事業

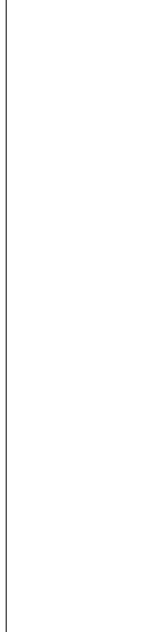
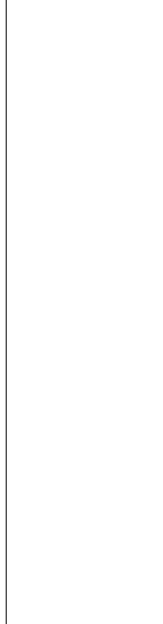
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(1) (改修前・後)		
縮尺	1/50	番号	S-24

福岡県流域下水道事務所

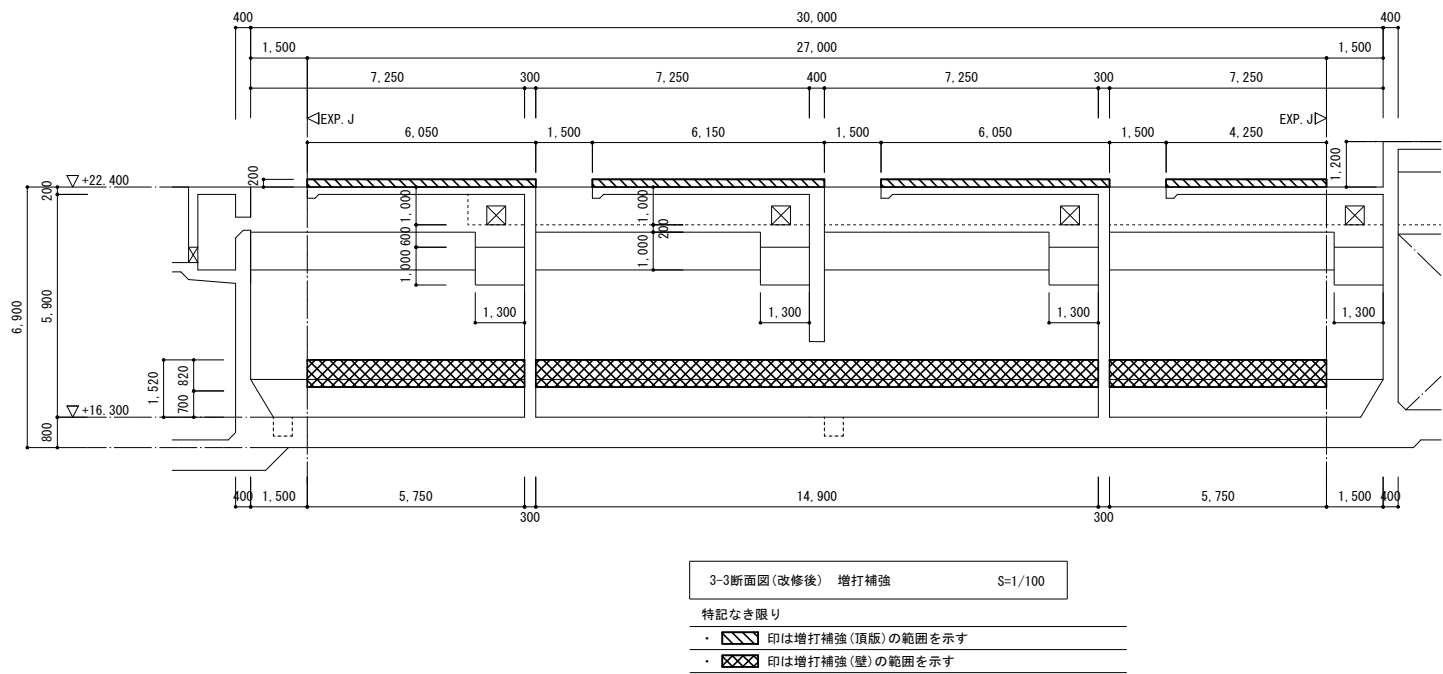
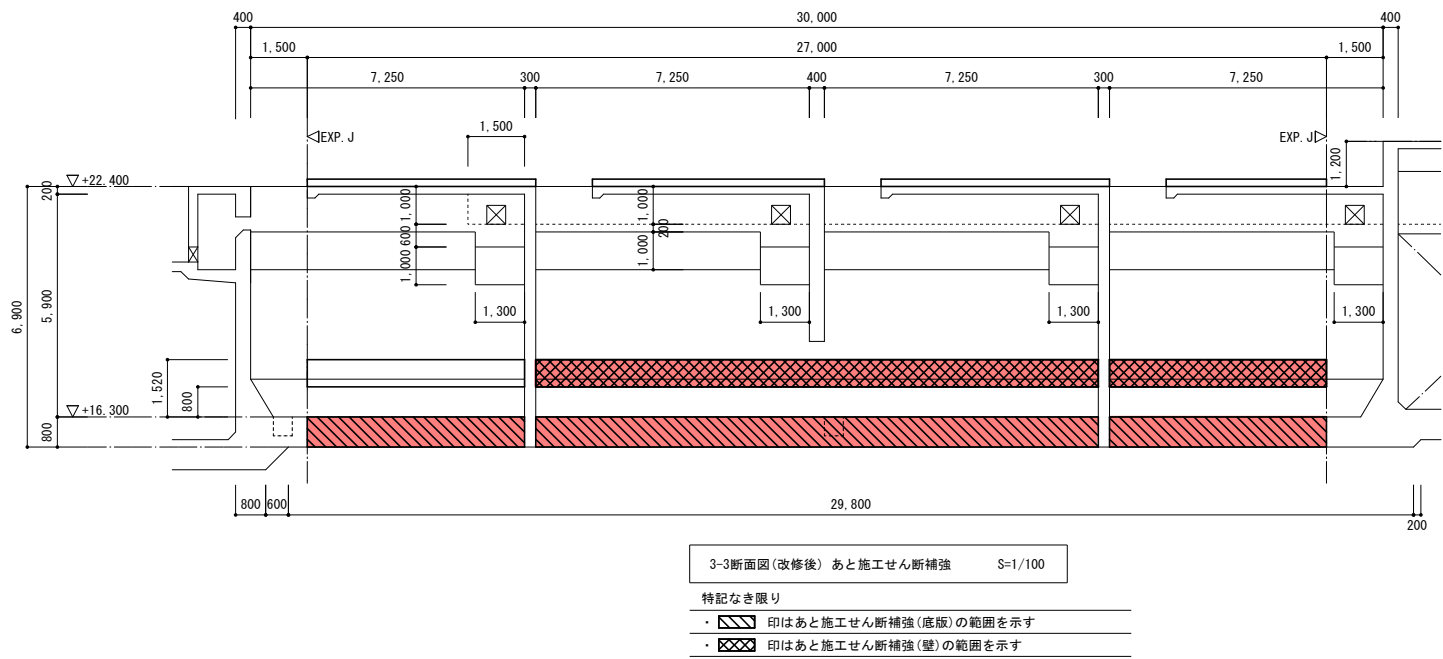
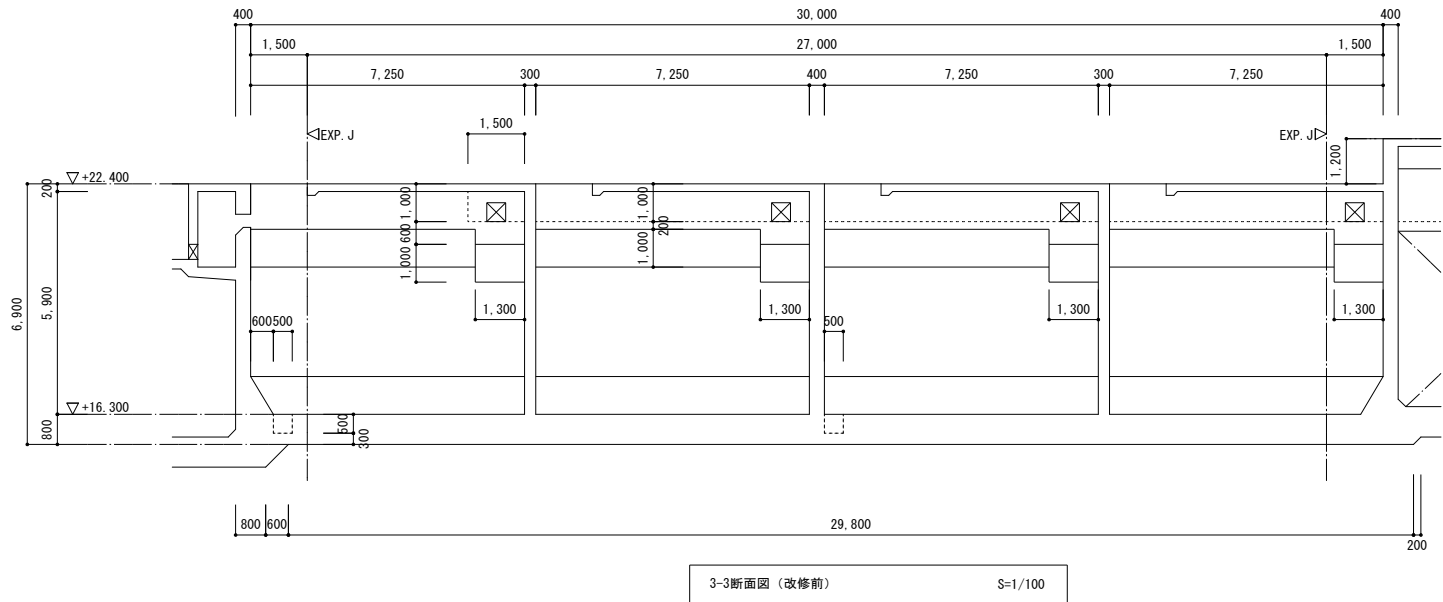
改修前



改修後

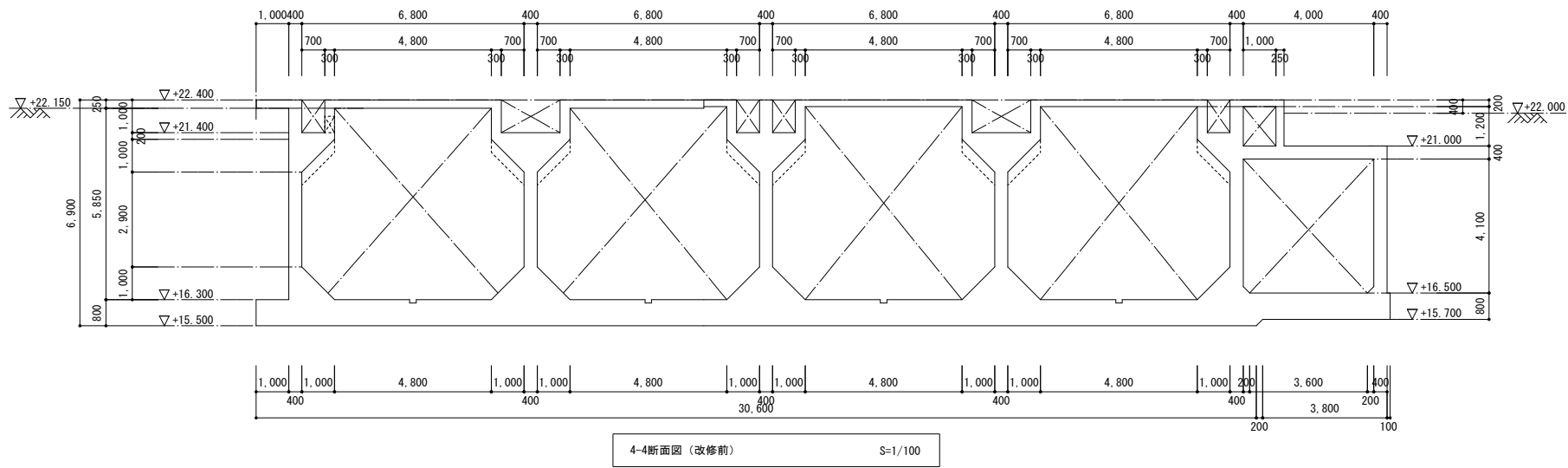


宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(2) (改修前・後)		
縮 尺	1/50	番 号	S-25
福岡県流域下水道事務所			

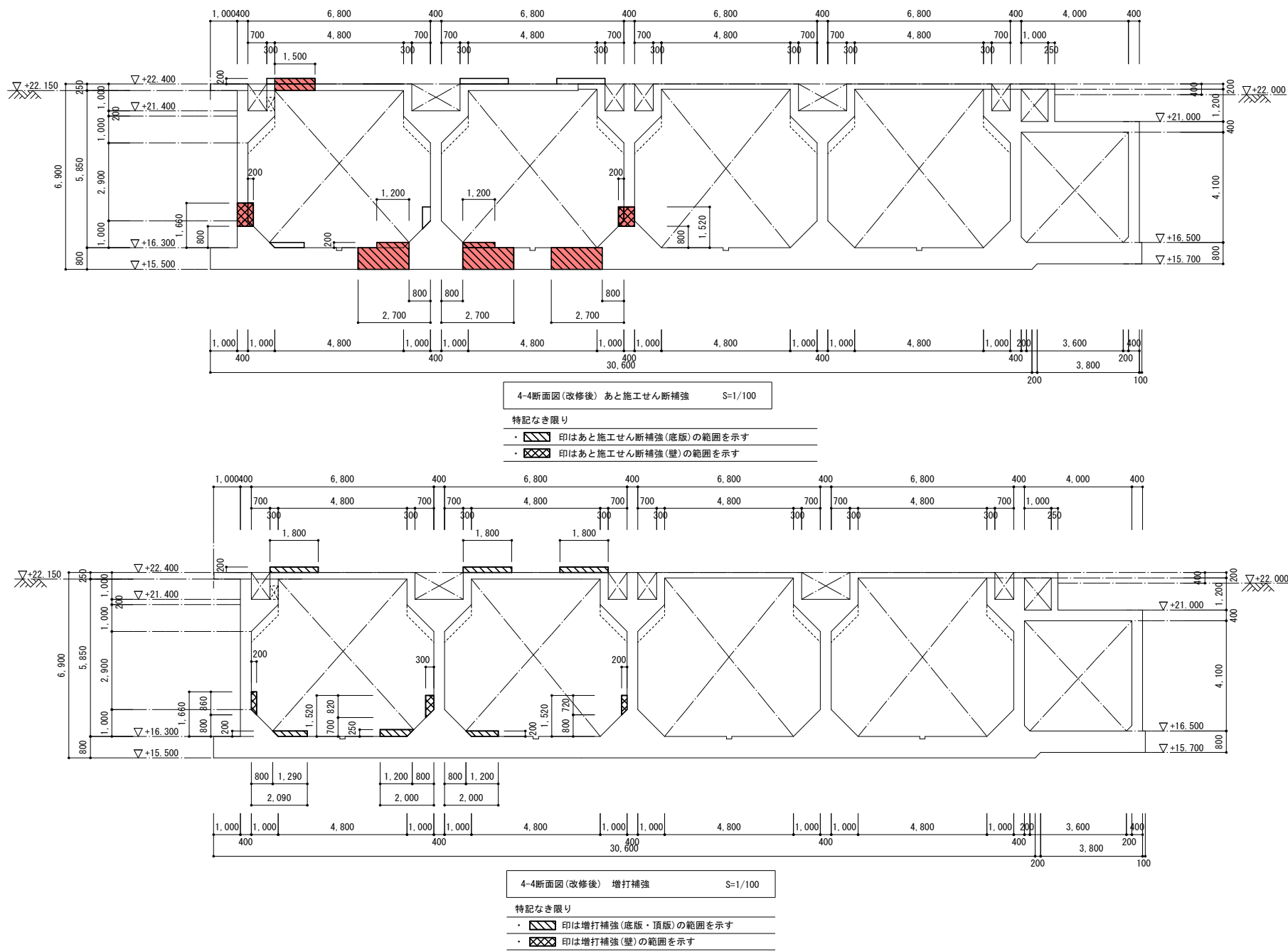


宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(3) (改修前・後)		
縮尺	1/50	番号	S-26
福岡県流域下水道事務所			

改修前

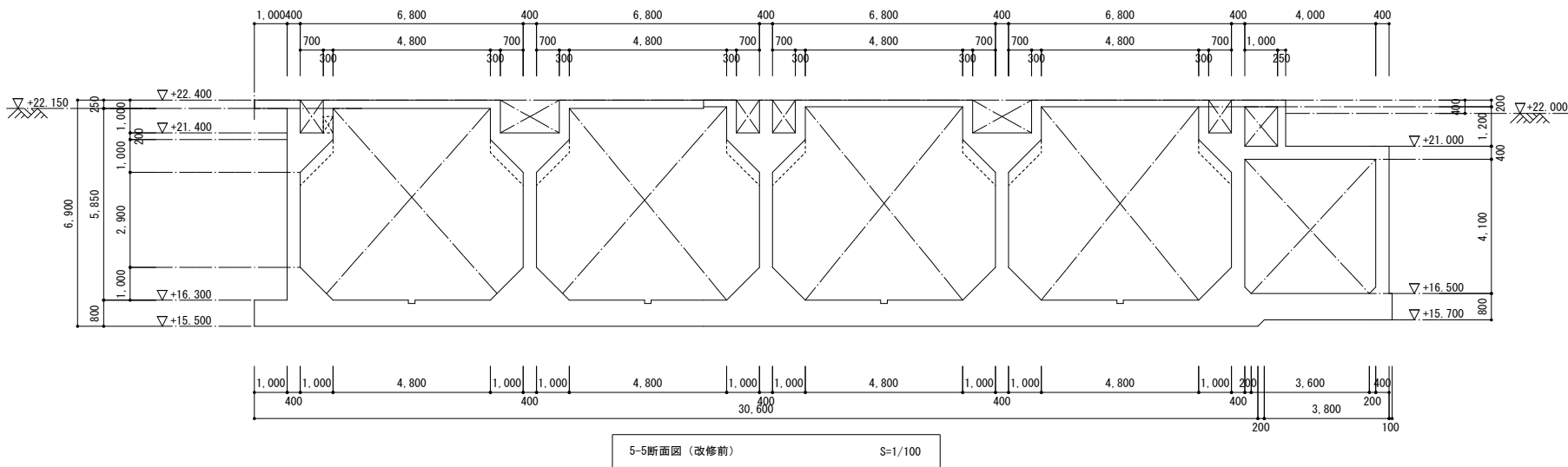


改修後

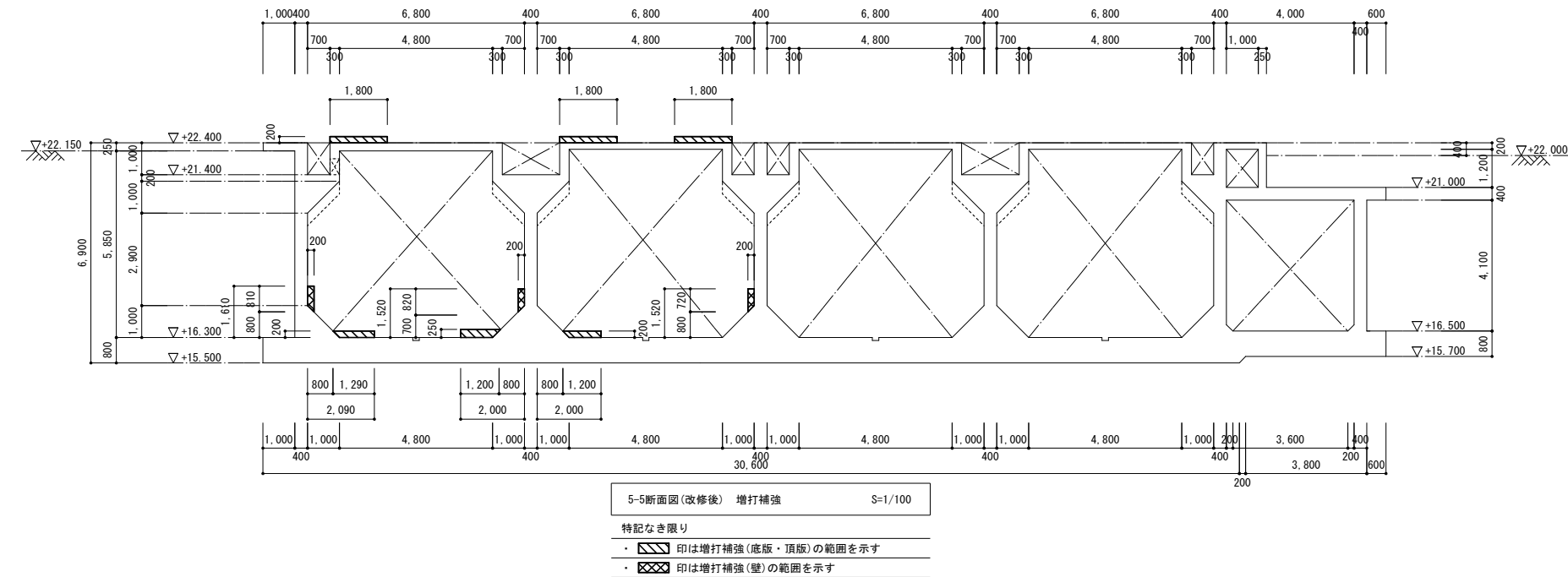
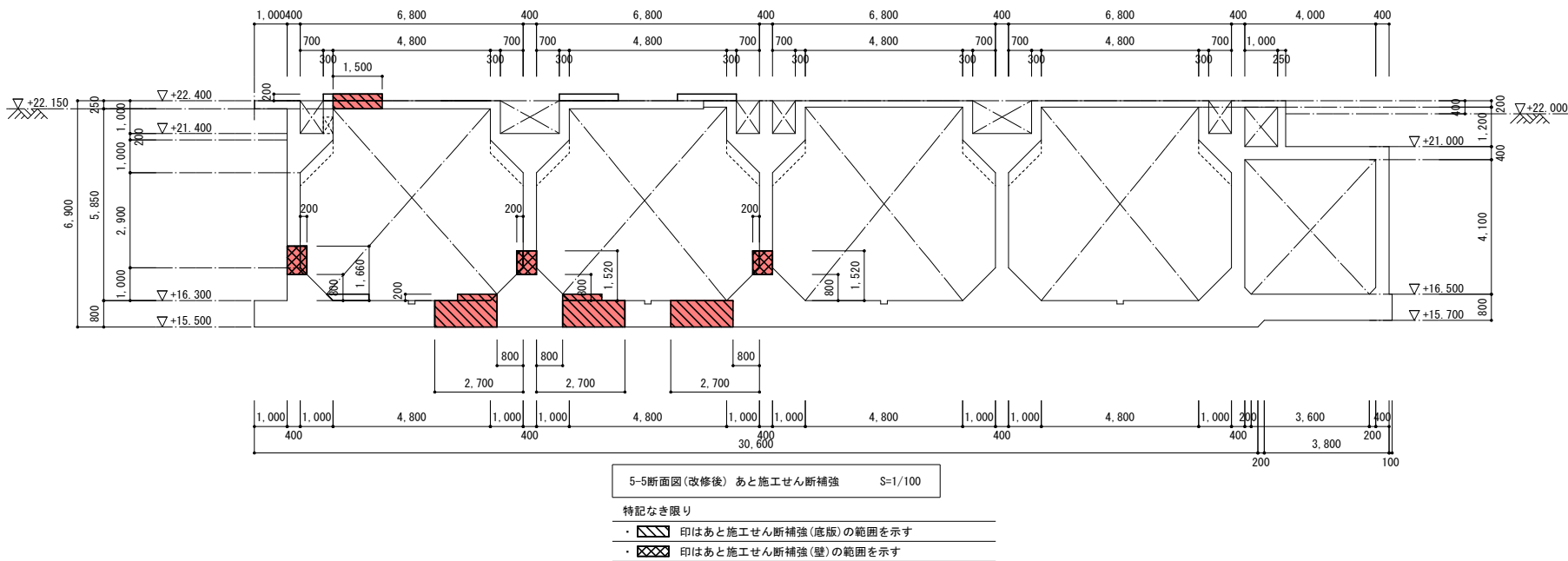


宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 断面図(4) (改修前・後)		
縮尺	1/50	番号	S-27
福岡県流域下水道事務所			

改修前



改修後



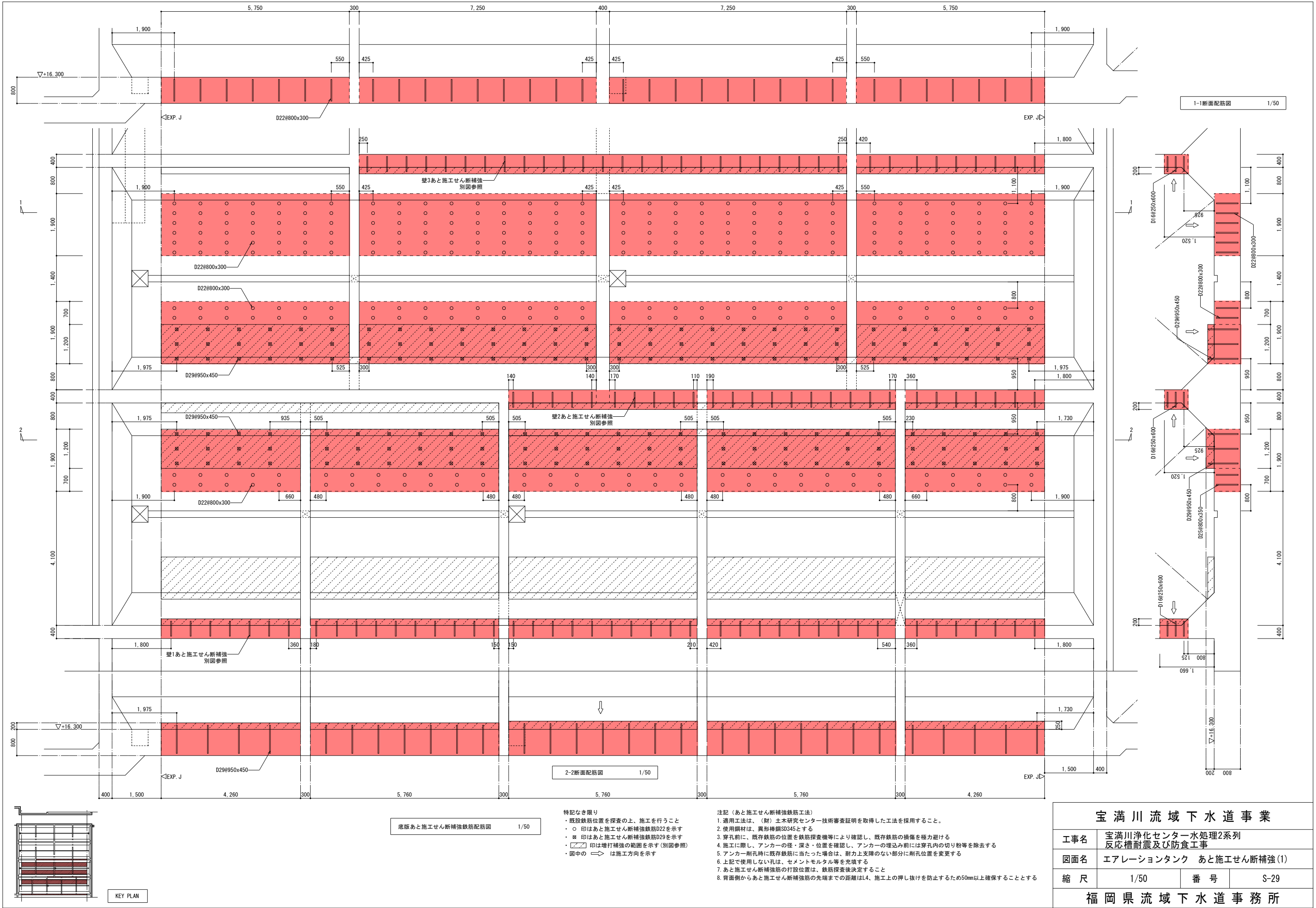
宝満川流域下水道事業

工事名 宝満川浄化センター水処理2系列
反応槽耐震及び防食工事

図面名 エアレーションタンク 断面図(5) (改修前・後)

縮尺 1/50 番号 S-28

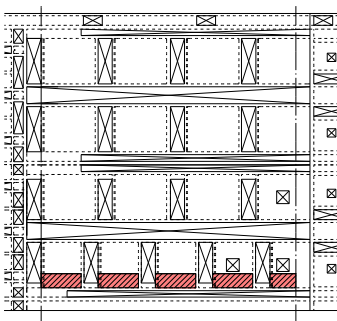
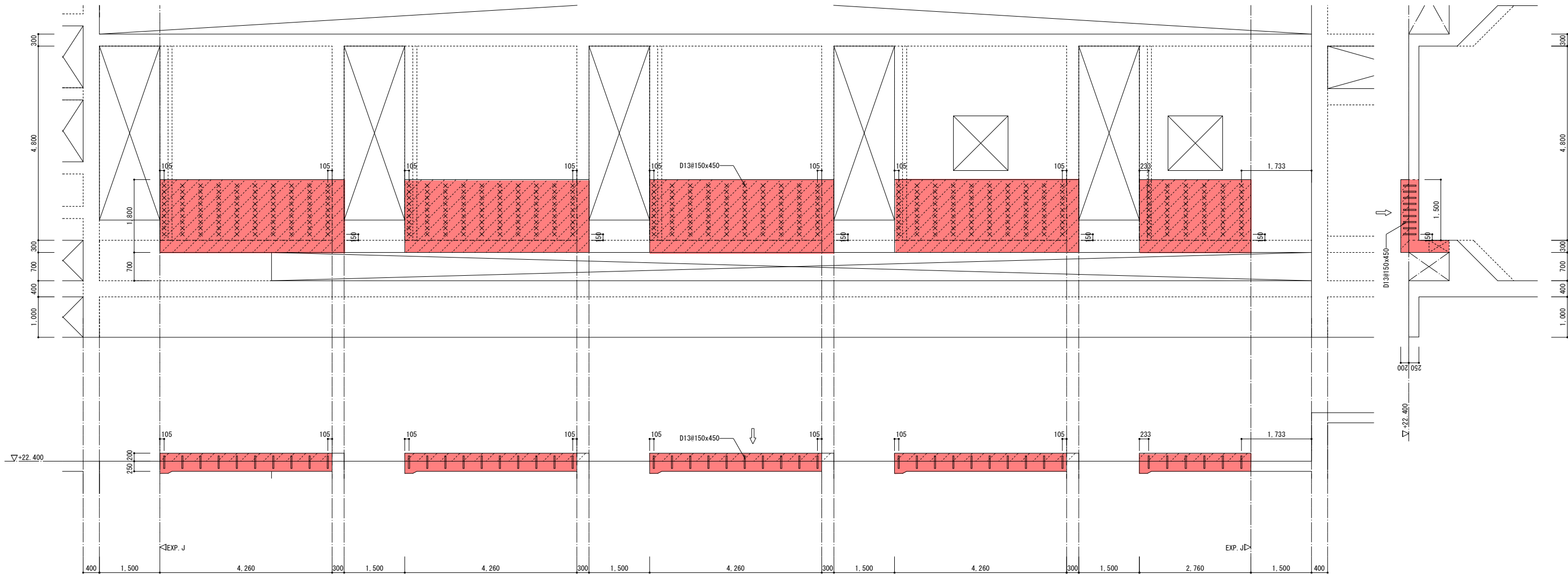
福岡県流域下水道事務所



底版あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50



特記なき限り
・既設鉄筋位置を調査の上、施工を行うこと
・○印はあと施工せん断補強鉄筋D22を示す
・⊗印はあと施工せん断補強鉄筋D29を示す
・斜線印は増打補強の範囲を示す(別図参照)
・図中の → は施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)
1.適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。
2.使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする
3.穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける
4.施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する
5.アンカー削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する
6.上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する
7.あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探査後決定すること
8.背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする



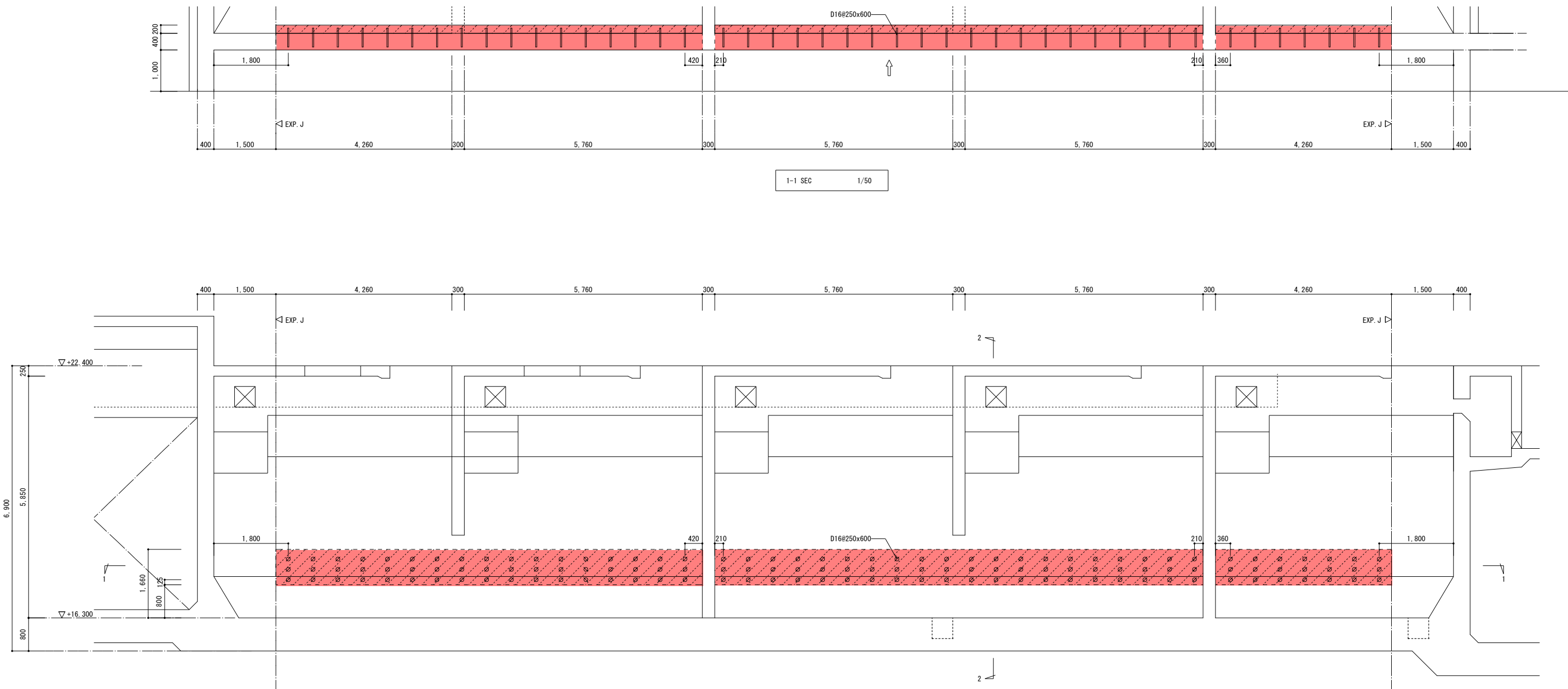
KEY PLAN

上部あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・×印はあと施工せん断補強鉄筋D13を示す
・印は増打補強の範囲を示す(別図参照)
・図中のは施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する
5. アンカー削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填すること
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探査後決定すること
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離は14、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする

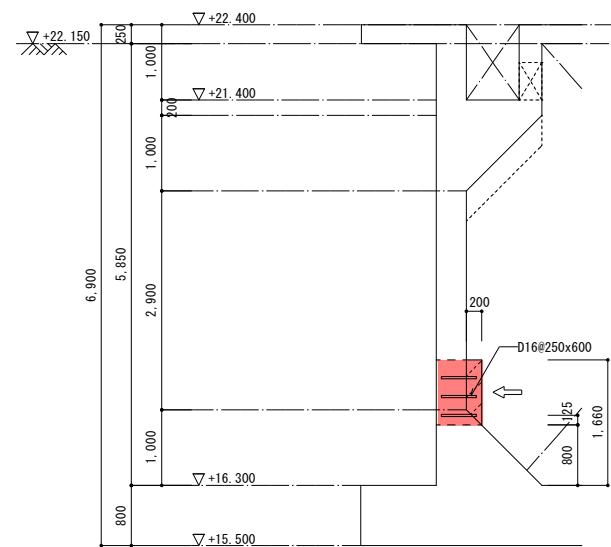
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(2)		
縮尺	1/50	番号	S-30
福岡県流域下水道事務所			



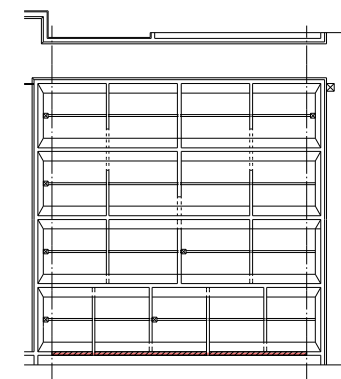
壁1あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・ \emptyset 印はあと施工せん断補強鉄筋D16を示す
・ \square 印は増打補強の範囲を示す (別図参照)
・図中の \Rightarrow は施工方向を示す

注記 (あと施工せん断補強鉄筋工法)
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する
5. アンカー剛孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に剛孔位置を変更する
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする

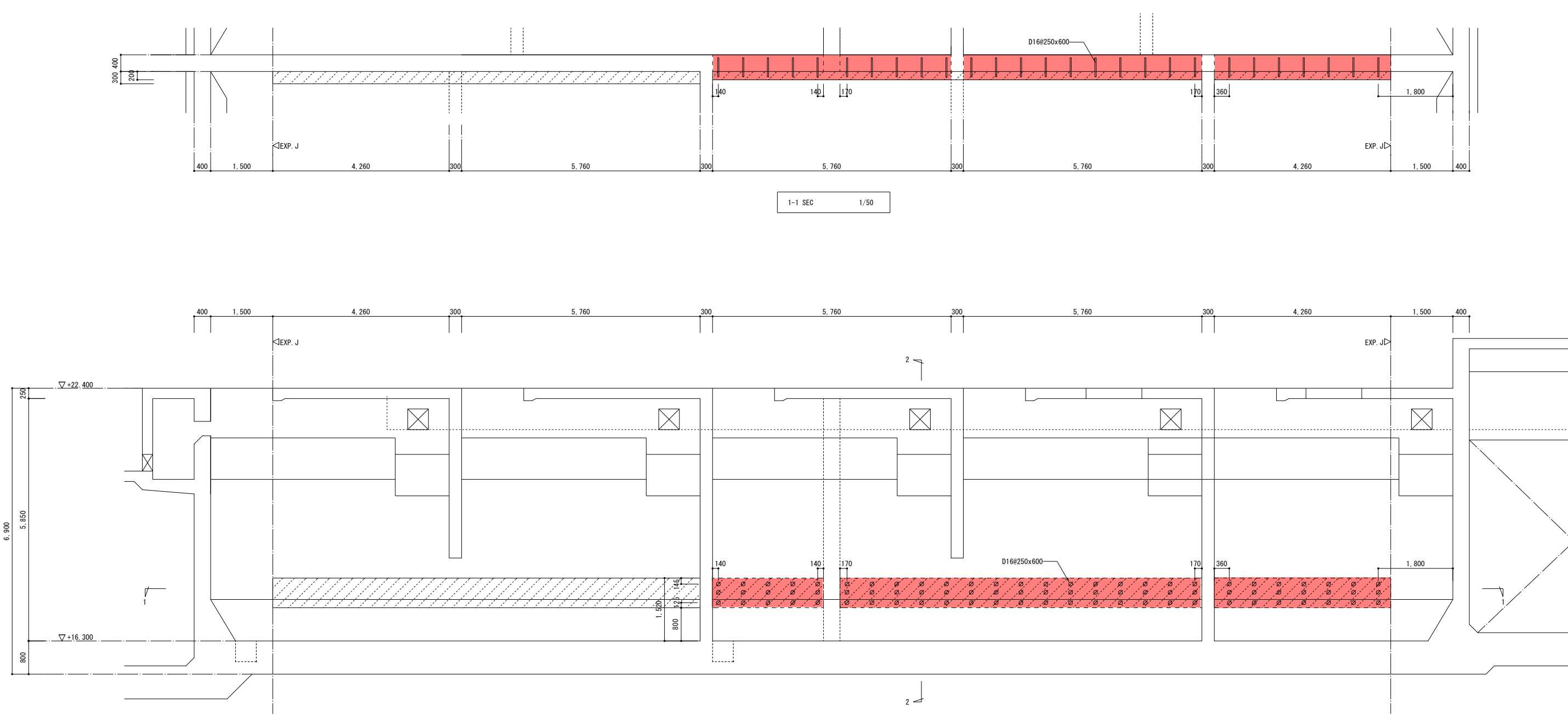


2-2 SEC S=1/50



KEY PLAN

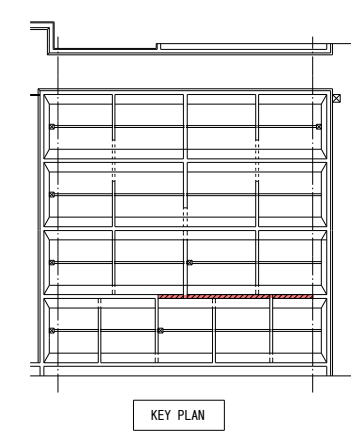
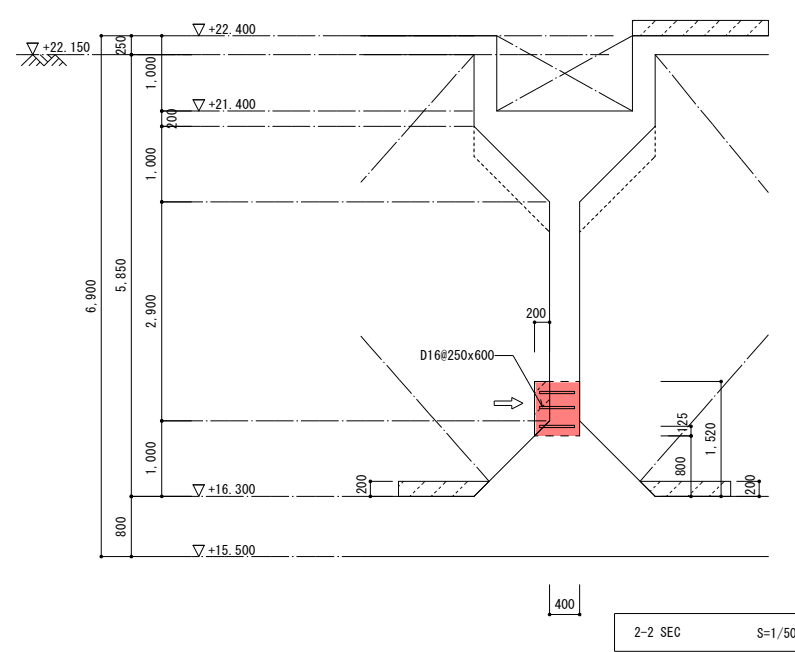
宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強 (3)		
縮 尺	1/50	番 号	S-31
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



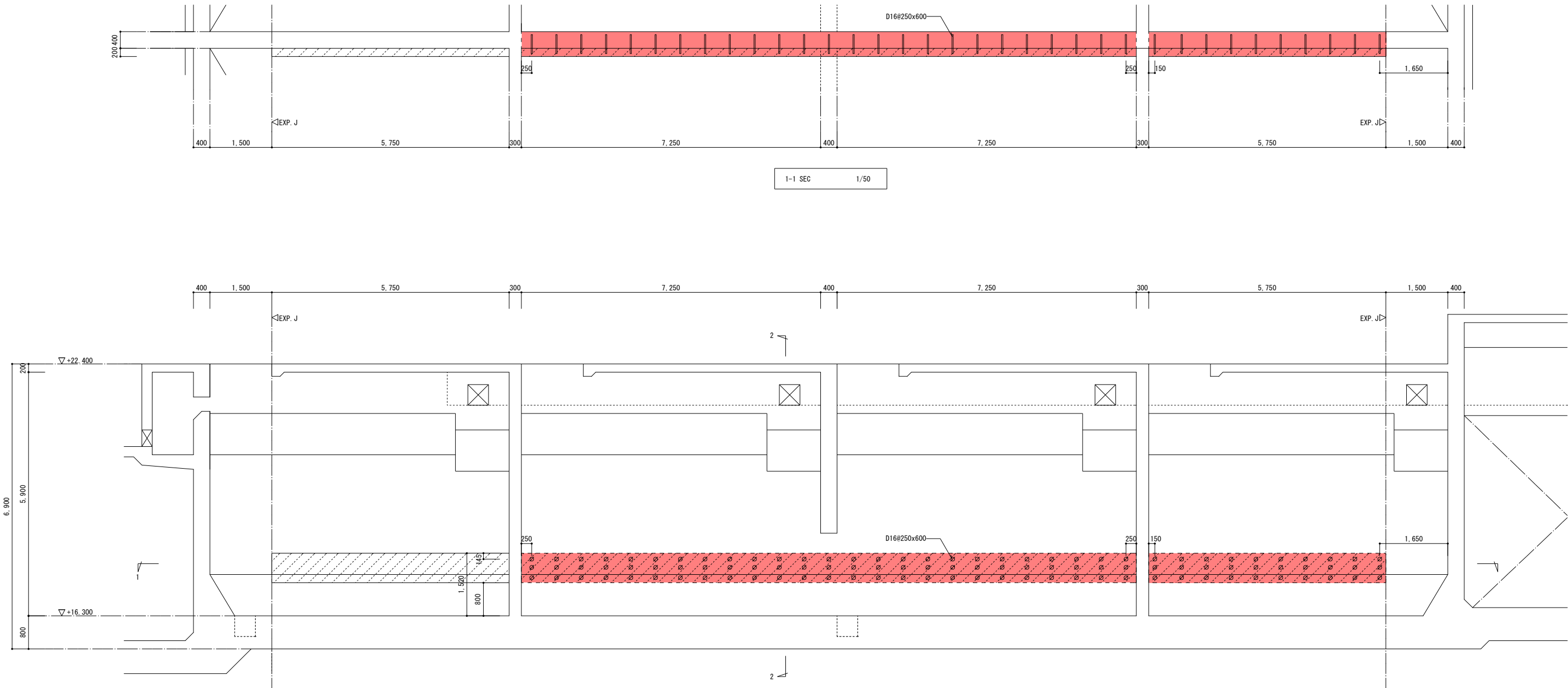
壁2あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・ \emptyset 印はあと施工せん断補強鉄筋D16を示す
・ \square 印は増打補強の範囲を示す(別図参照)
・図中の \Rightarrow は施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)
1.適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。
2.使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする
3.穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける
4.施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する
5.アンカー穿孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に穿孔位置を変更する
6.上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する
7.あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること
8.背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする



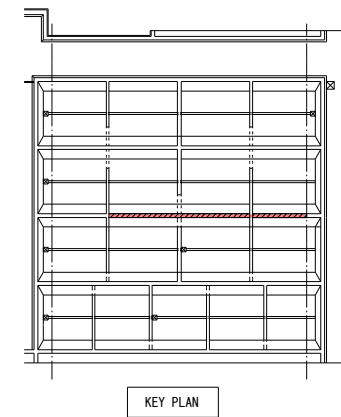
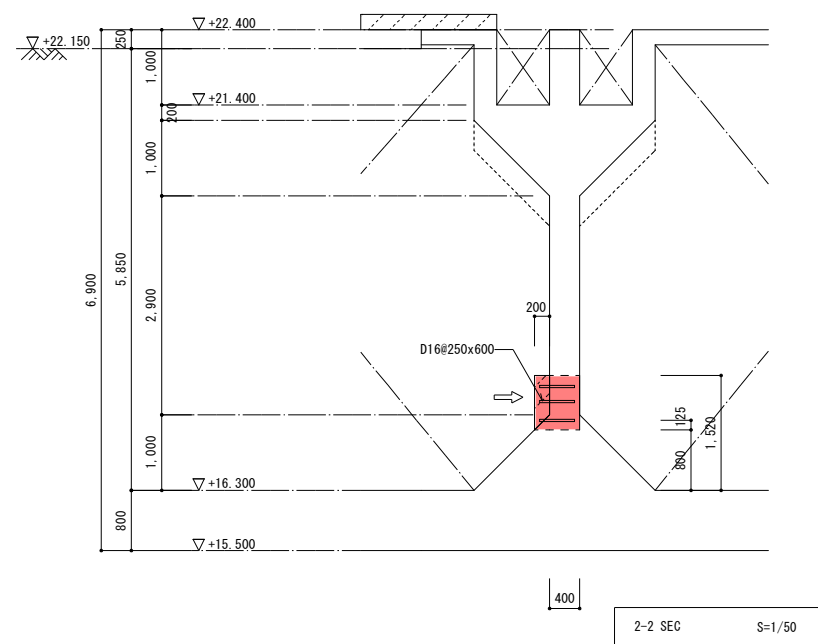
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(4)		
縮尺	1/50	番号	S-32
福岡県流域下水道事務所			



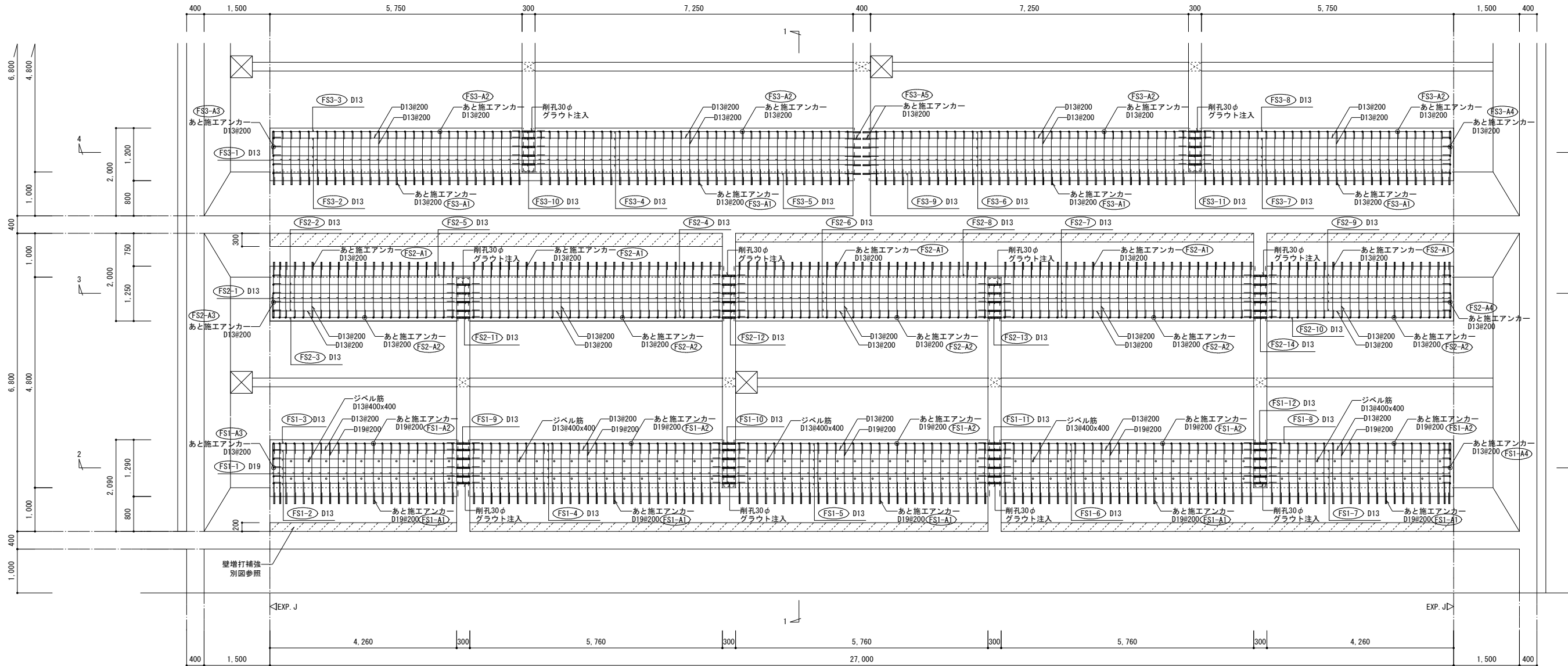
壁3あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・ \emptyset 印はあと施工せん断補強鉄筋D16を示す
・ \square 印は増打補強の範囲を示す (別図参照)
・図中の \Rightarrow は施工方向を示す

注記 (あと施工せん断補強鉄筋工法)
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する
5. アンカー穿孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に穿孔位置を変更する
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする



宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク あと施工せん断補強(5)		
縮尺	1/50	番号	S-33
福岡県流域下水道事務所			

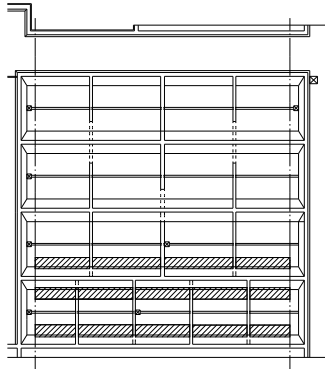


エアレーションタンク 底版増打補強配筋図 1/50

- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
 - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋はナット付きとする
 - ・---印は目荒しの範囲を示す

既存底版リスト

版厚	800	
位置	短辺方向	長辺方向
上端筋	D16#200	D16#200
下端筋	D16#200	D16#200



KEY PLAN

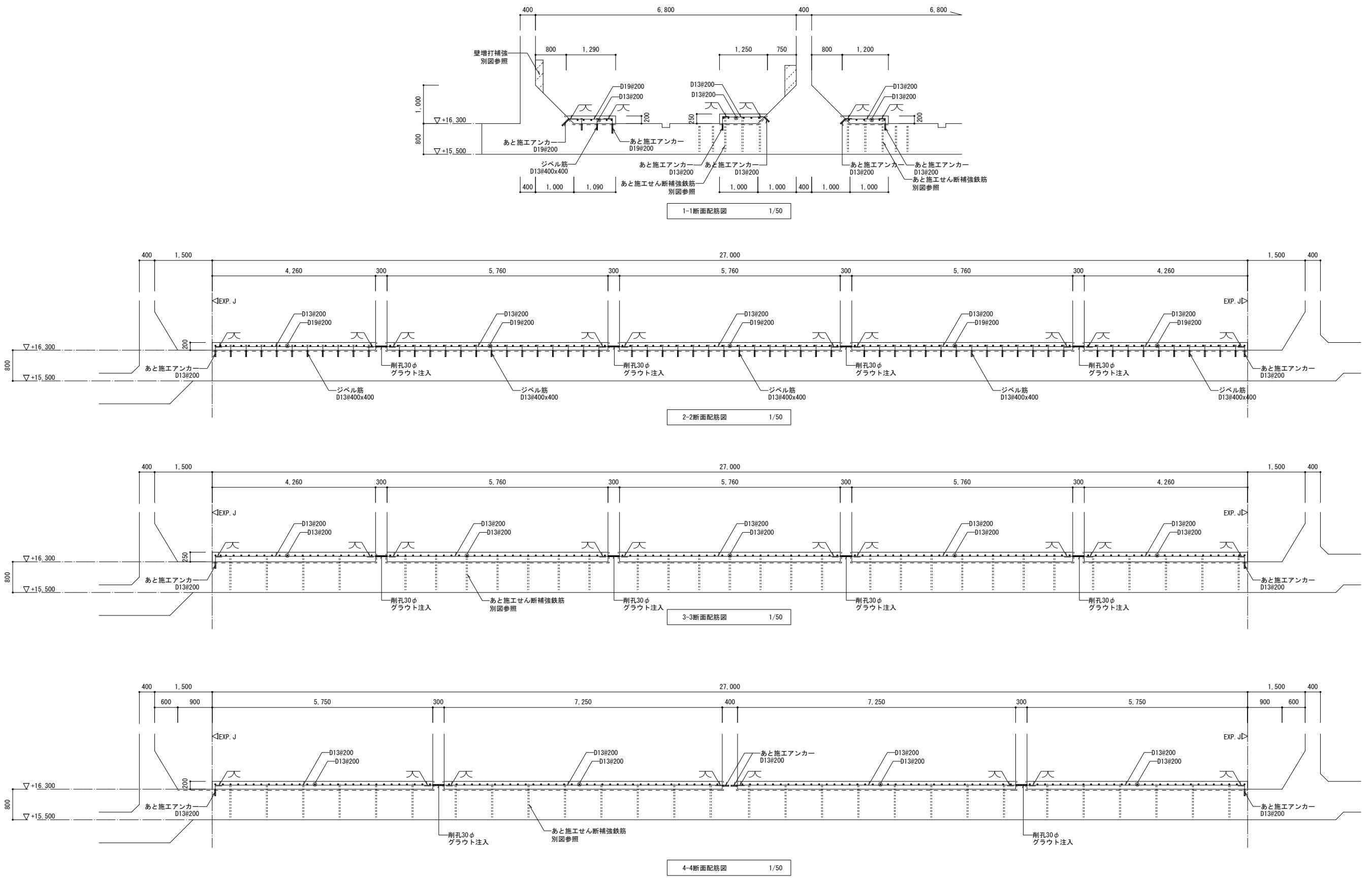
宝満川流域下水道事業

工事名 宝満川浄化センター水処理2系列
反応槽耐震及び防食工事

図面名 エアレーションタンク 増打補強配筋図(1)

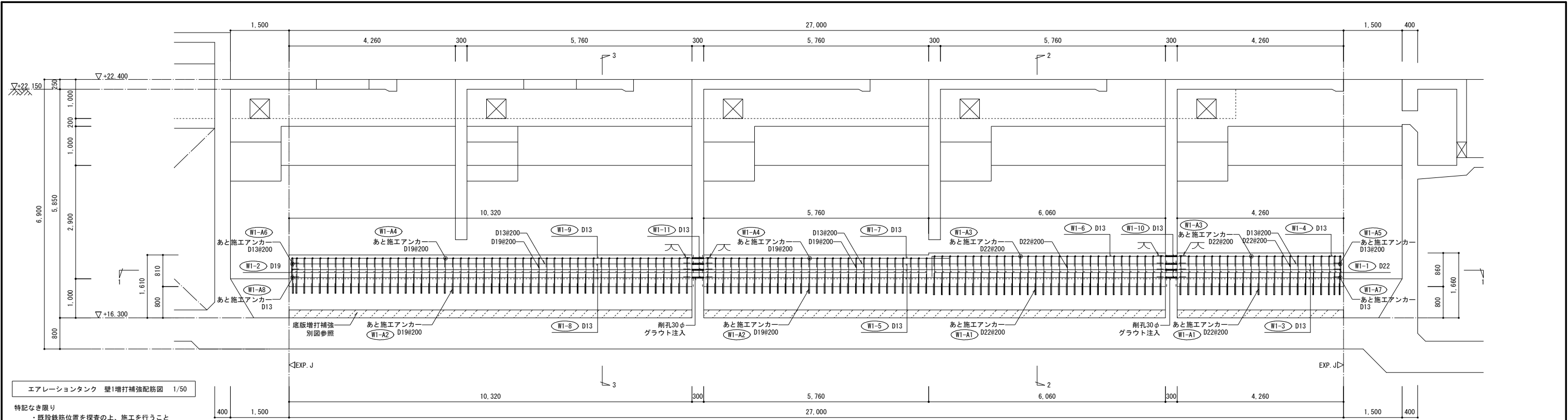
縮尺 1/50 番号 S-34

福岡県流域下水道事務所



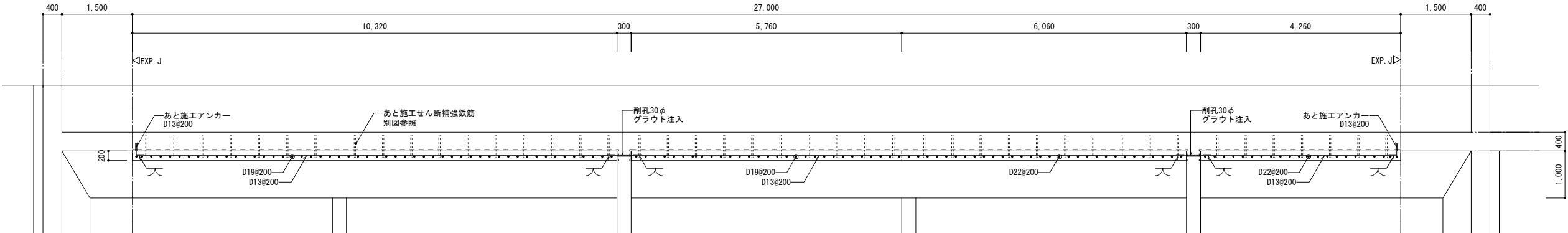
特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
・ジベル筋はナット付きとする
・---印は目荒しの範囲を示す

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(2)		
縮尺	1/50	番号	S-35
福岡県流域下水道事務所			

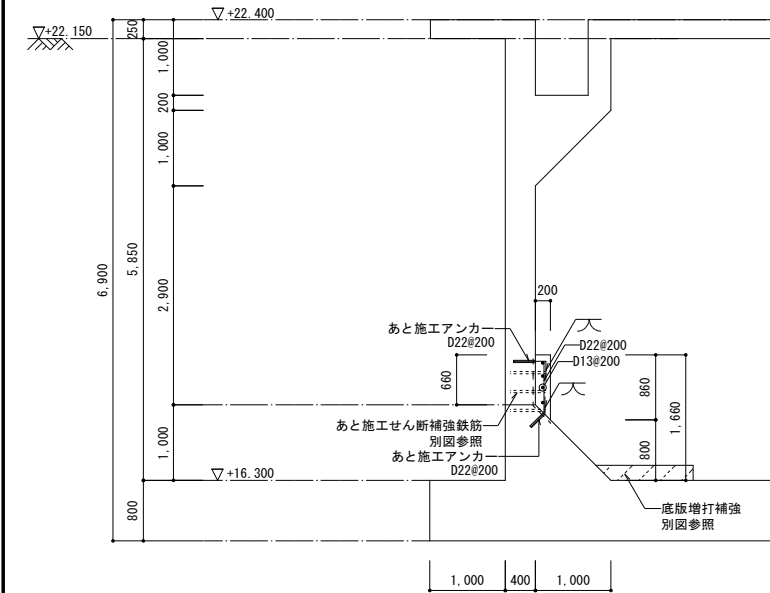


エアレーションタンク 壁1増打補強配筋図 1/50

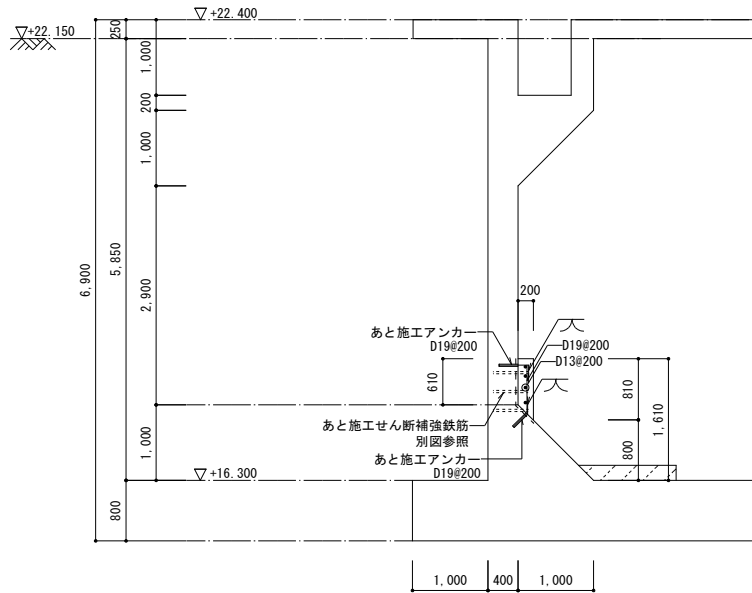
特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
・---印は目荒しの範囲を示す



1-1断面配筋図 1/50



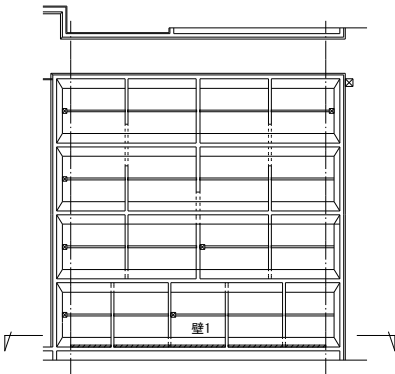
2-2断面配筋図 1/50



3-3断面配筋図 1/50

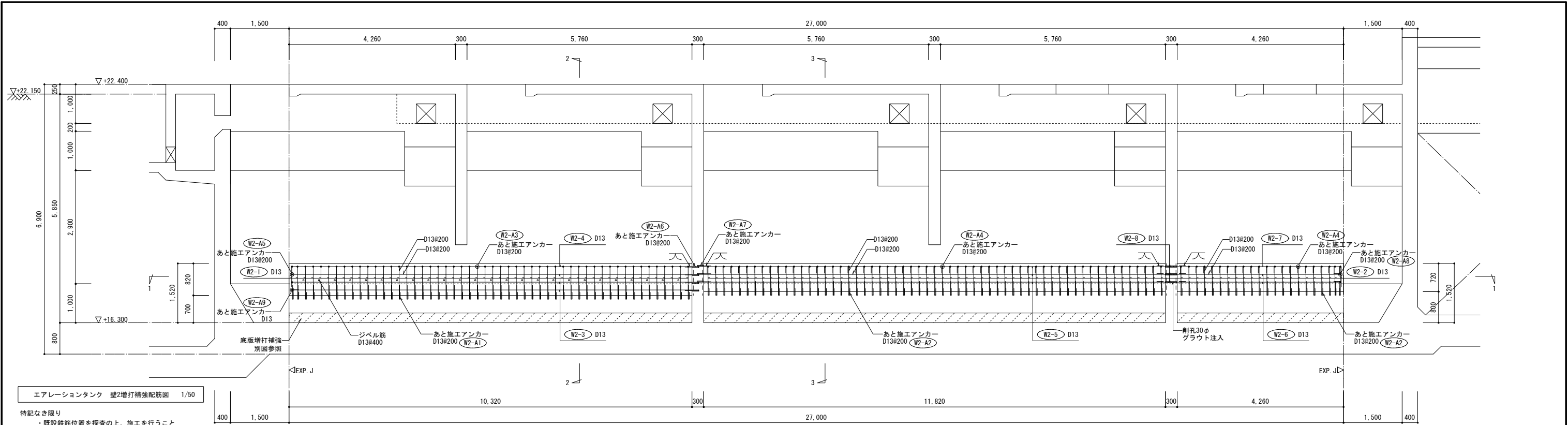
既存壁リスト

版厚	400	
位置	外側	内側
上端筋	D16#200	D16#200
下端筋	D16#200	D16#200



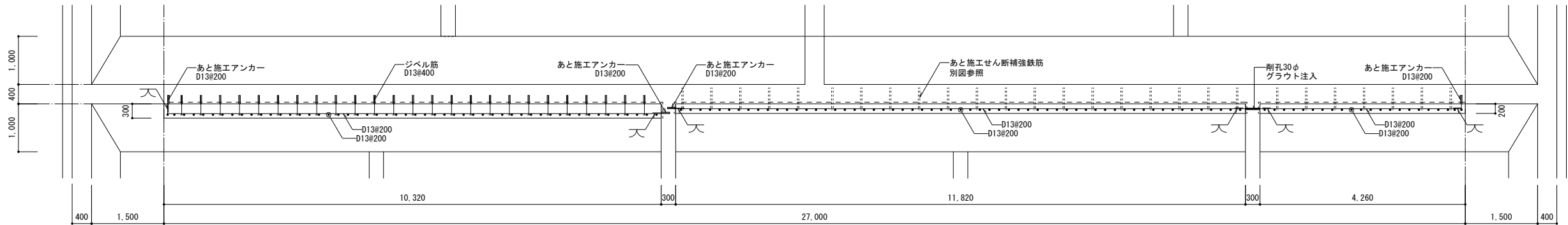
KEY PLAN

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(3)		
縮尺	1/50	番号	S-36
福岡県流域下水道事務所			

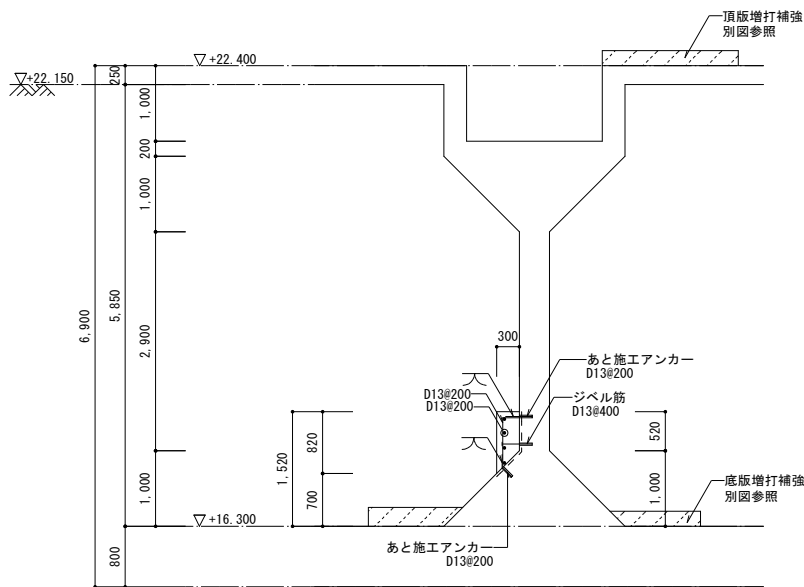


エアレーションタンク 壁2増打補強配筋図 1/50

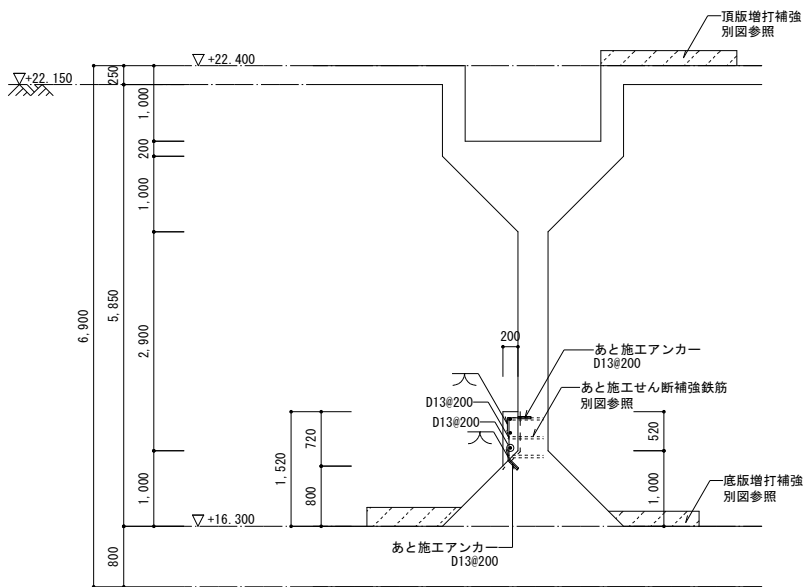
- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
 - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋はナット付きとする
 - ・---印は目視しの範囲を示す



1-1断面配筋図 1/50

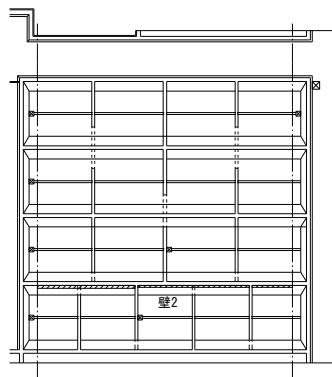


2-2断面配筋図 1/50

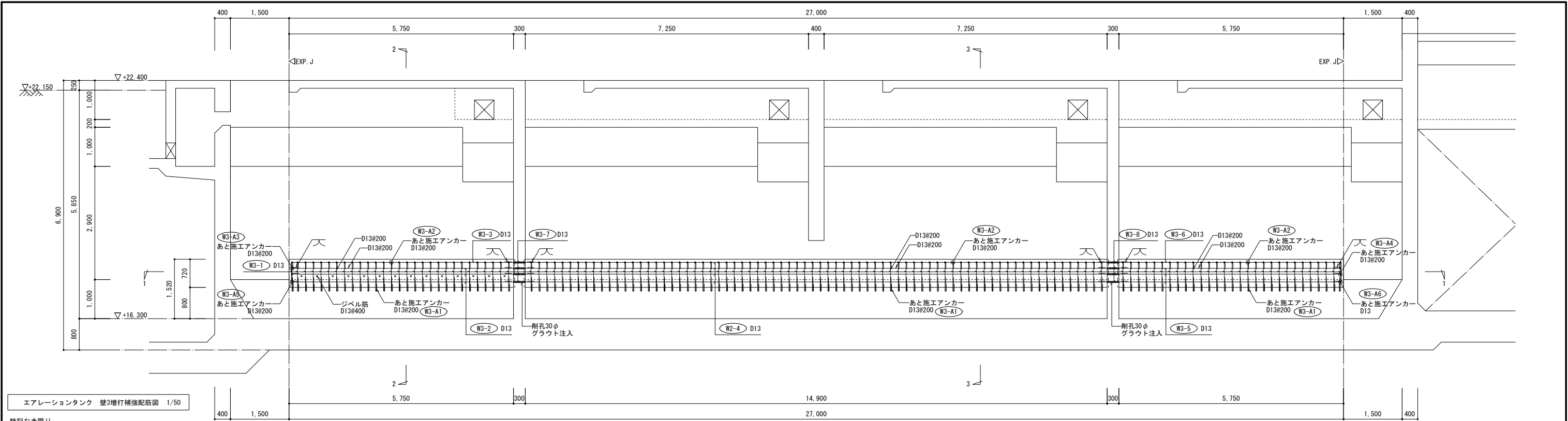


3-3断面配筋図 1/50

既存壁リスト		
版厚	400	
位置	外側	内側
上端筋	D16#200	D16#200
下端筋	D16#200	D16#200

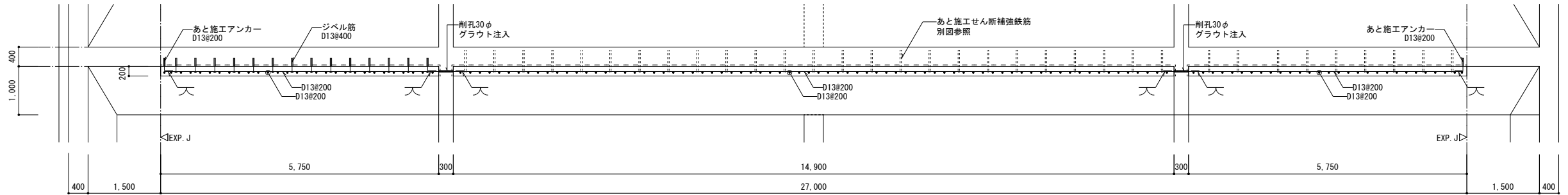


宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(4)		
縮尺	1/50	番号	S-37
福岡県流域下水道事務所			

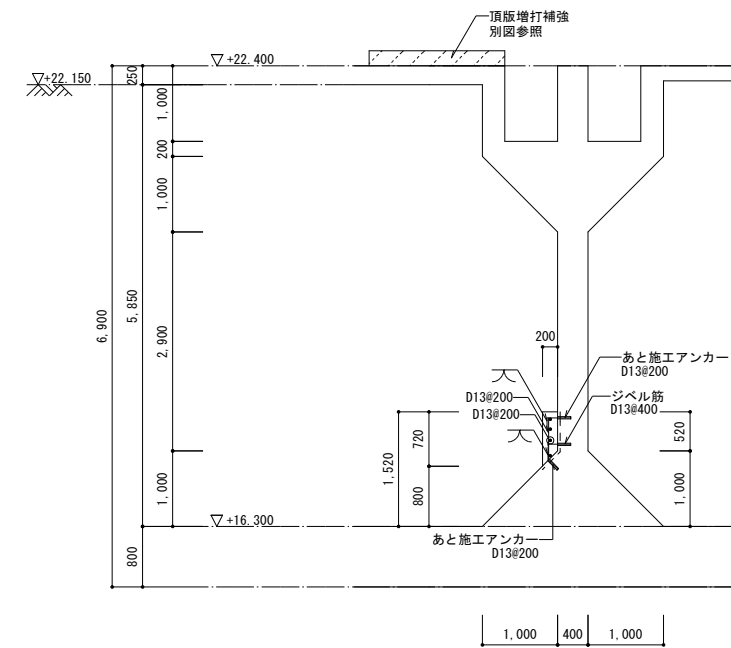


エアレーションタンク 壁3増打補強配筋図 1/50

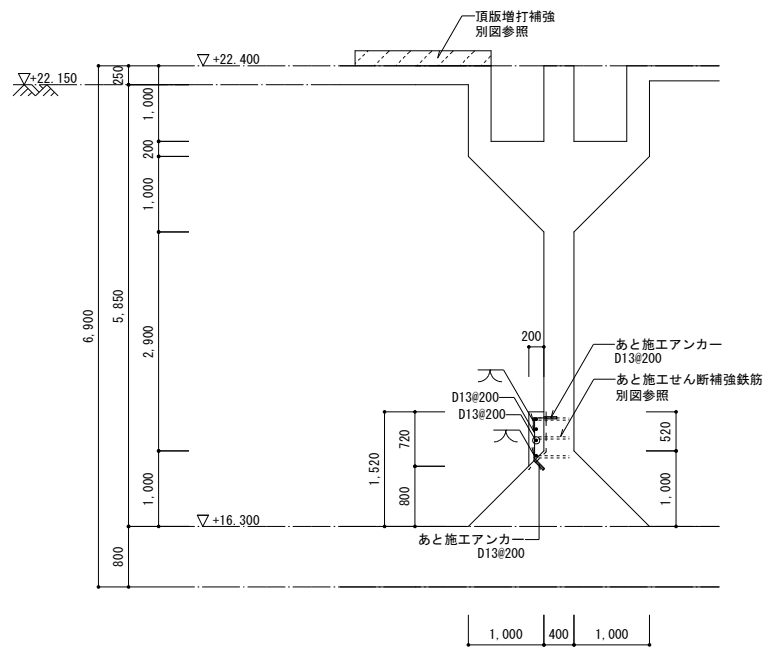
- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
 - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋はナット付きとする
 - ・---印は目荒しの範囲を示す



1-1断面配筋図 1/50

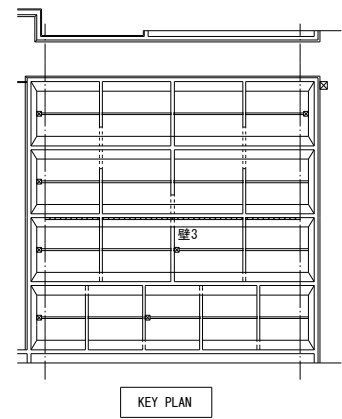


2-2断面配筋図 1/50

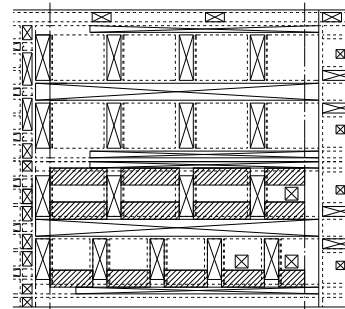


3-3断面配筋図 1/50

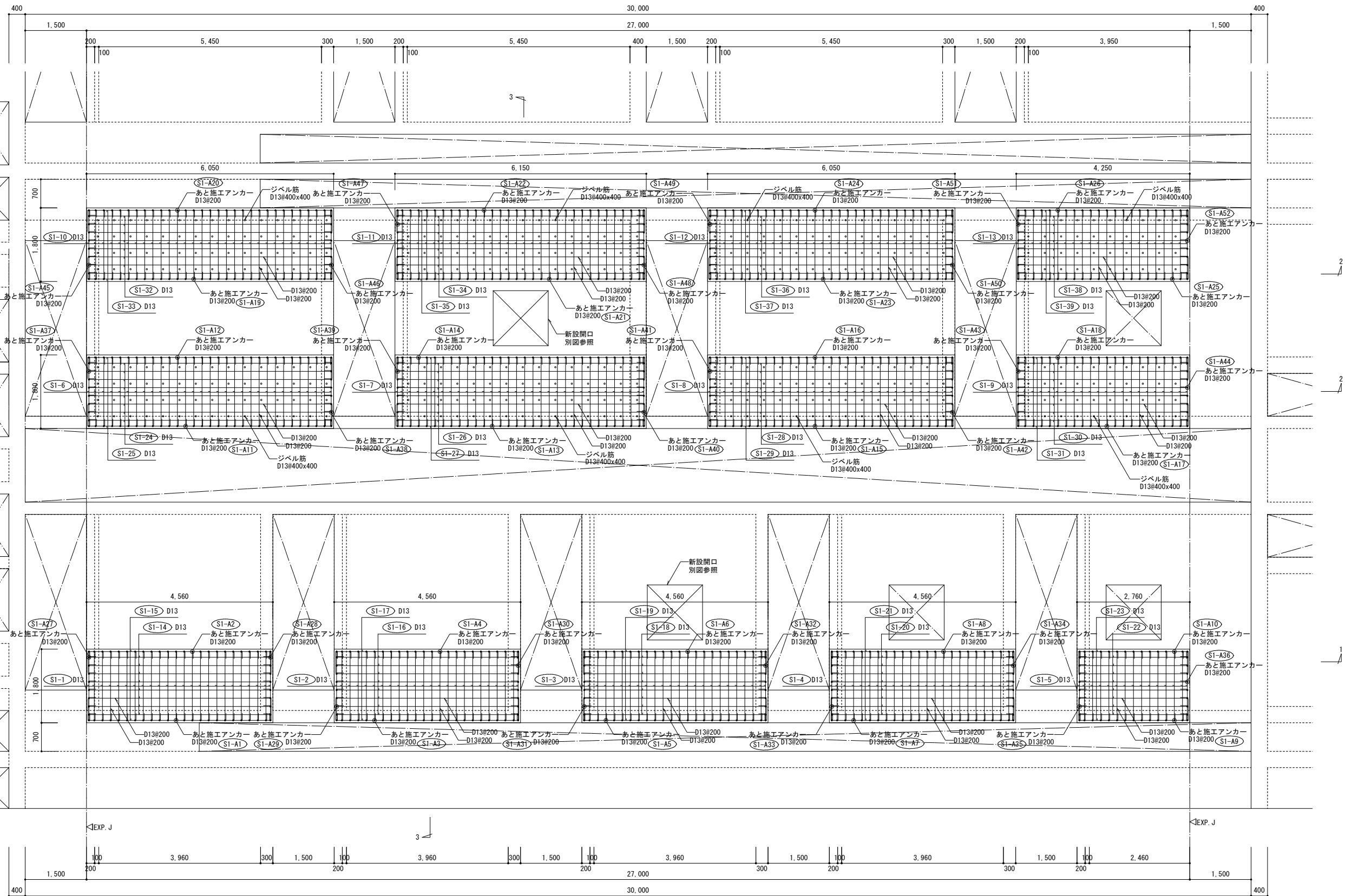
既存壁リスト		
版厚	400	
位置	外側	内側
上端筋	D16@200	D16@200
下端筋	D16@200	D16@200



宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(5)		
縮尺	1/50	番号	S-38
福岡県流域下水道事務所			



KEY PLAN

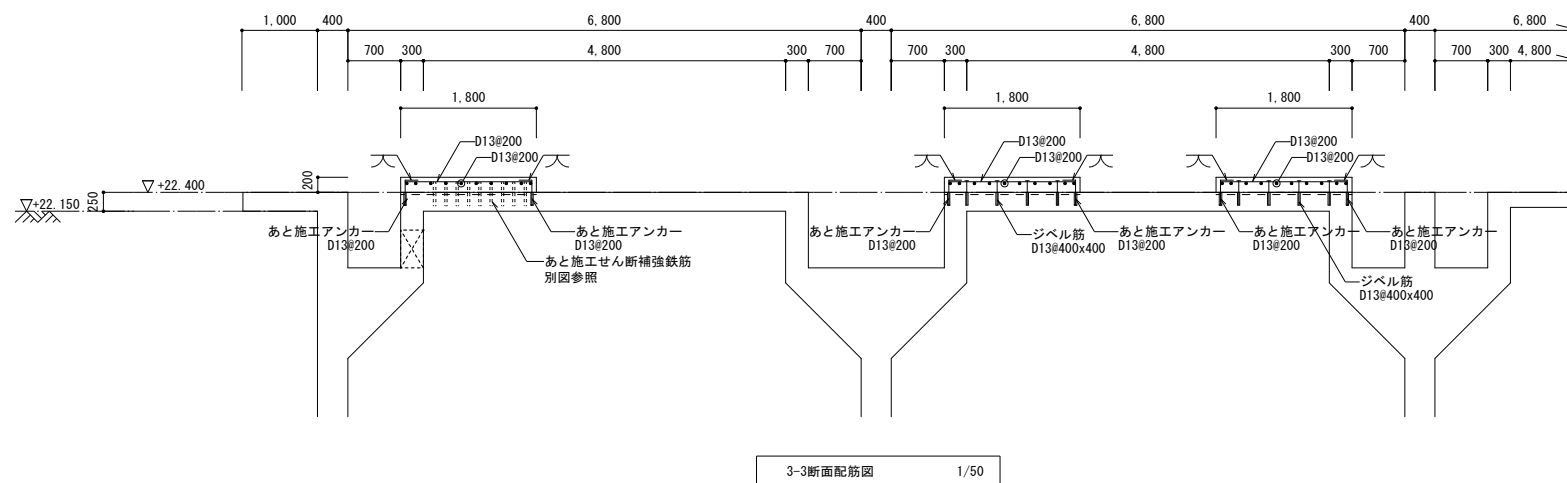
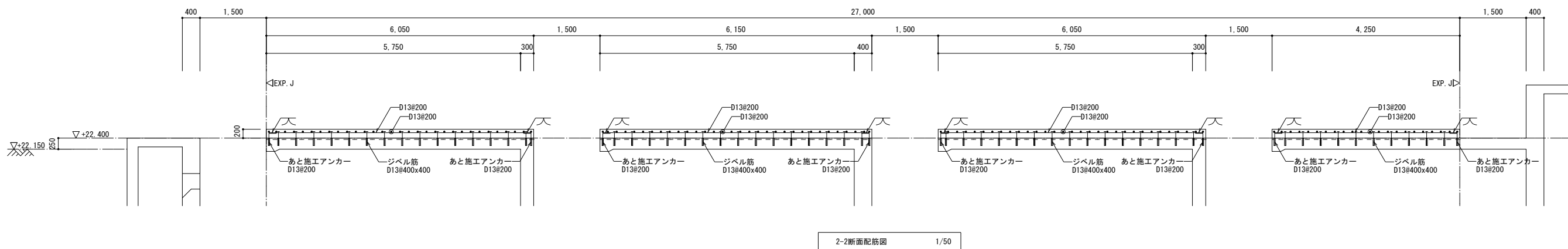
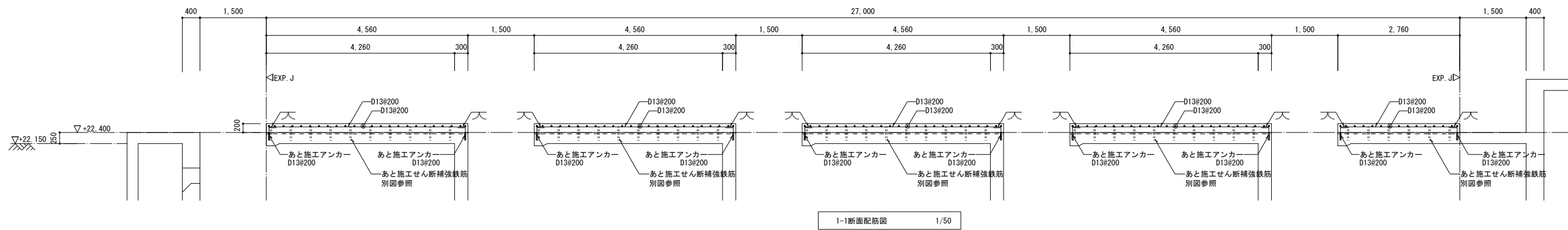


エアレーションタンク 頂版増打補強配筋図 1/50

- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
 - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋はナット付きとする
 - ・---印は目視しの範囲を示す

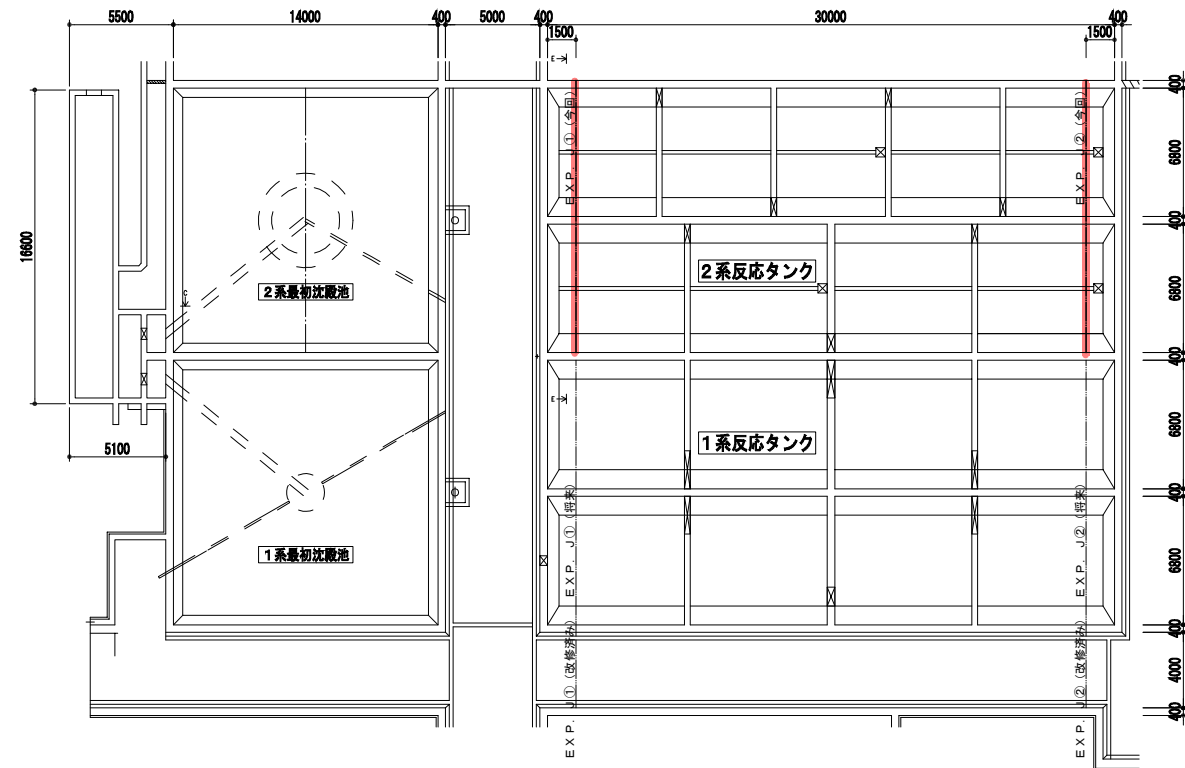
既存頂版リスト		
版厚	250	
位置	短辺方向	長辺方向
上端筋	D13#200	D13#200
下端筋	D13#200	D13#200

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(6)		
縮尺	1/50	番号	S-39
福岡県流域下水道事務所			

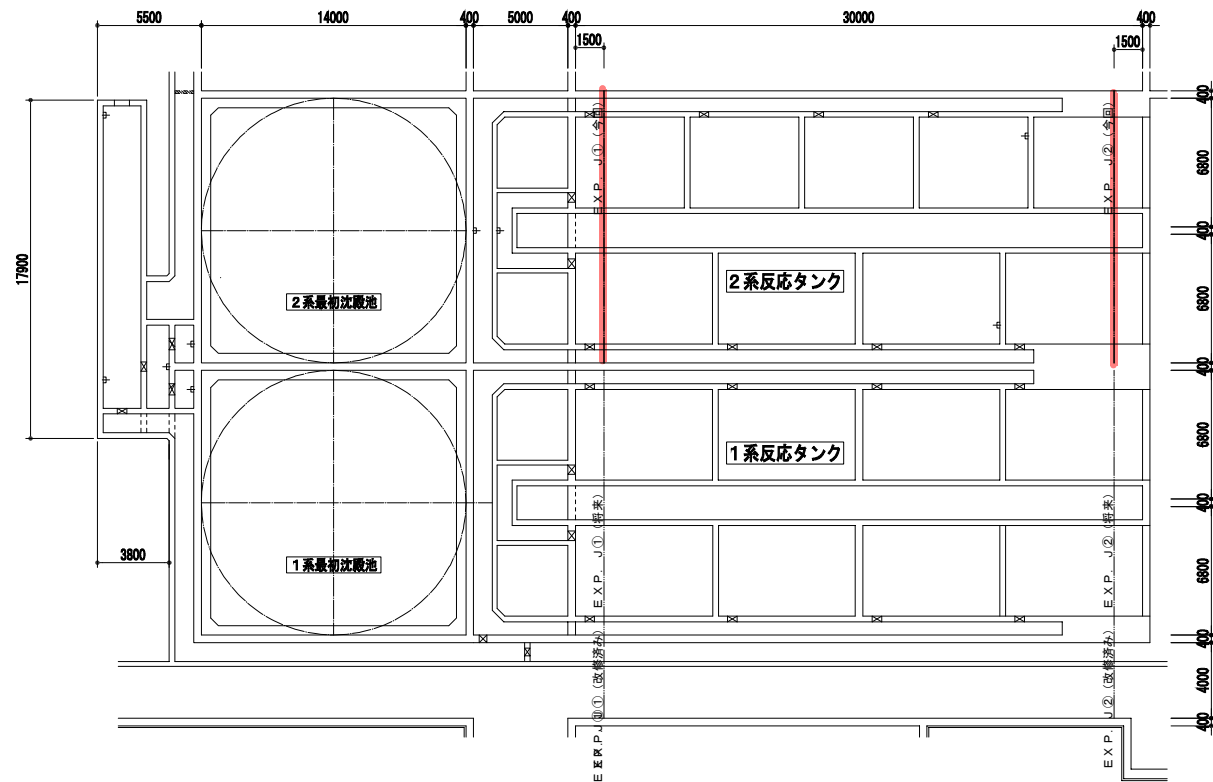


- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
 - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋はナット付きとする
 - ・---印は目荒しの範囲を示す

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	エアレーションタンク 増打補強配筋図(7)		
縮尺	1/50	番号	S-40
福岡県流域下水道事務所			



1, 2系最初沈殿池・反応タンク 地下1階 平面図 s=1/200



1, 2系最初沈殿池・反応タンク 水路階 平面図 s=1/200

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修位置図		
縮尺	1/200	番号	C-12
福岡県流域下水道事務所			



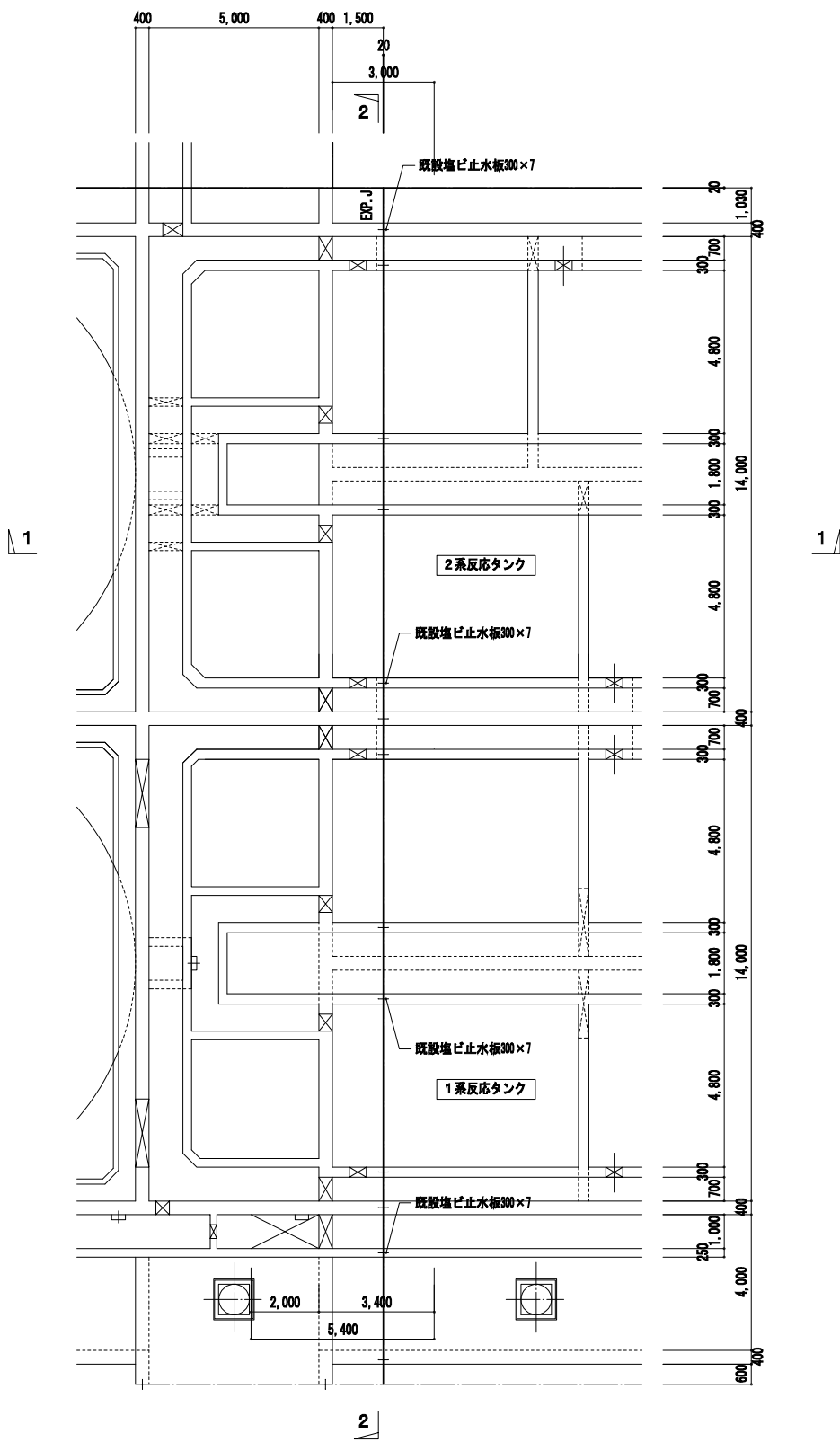
Exp. J① 地下1階改修前平面図 S=1:100



Exp. J① 地下1階改修後平面圖 S=1:100

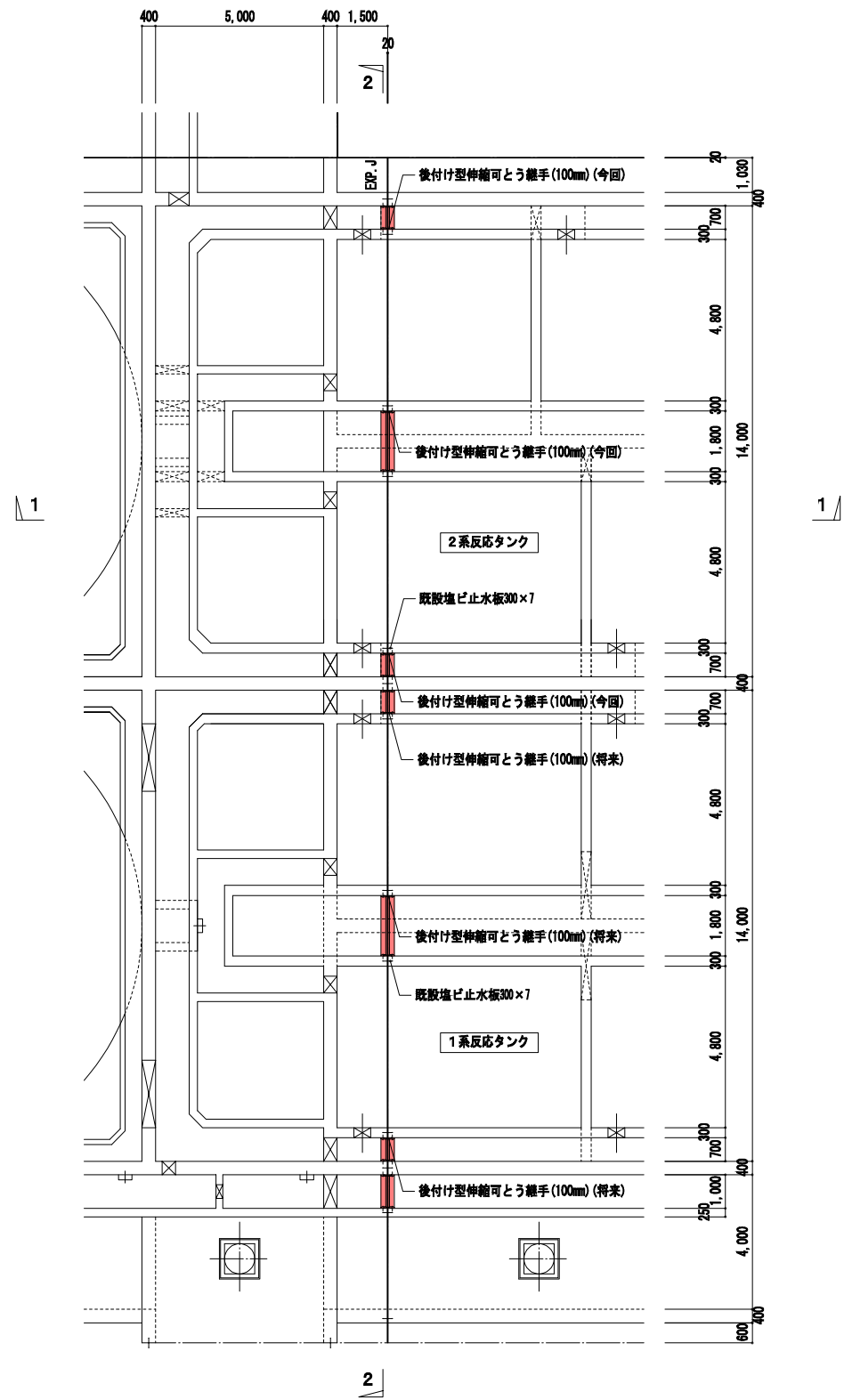
宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（1）		
縮 尺	1/100	番 号	C-13
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

【Exp. J① 改修前】



【D-1】詳細図参照
Exp. J① 水路階改修前平面図 S=1:100

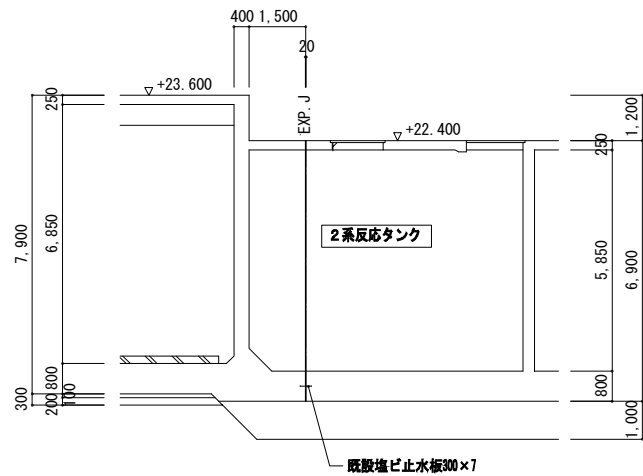
【Exp. J① 改修後】



【D-1】詳細図参照
Exp. J① 水路階改修後平面図 S=1:100

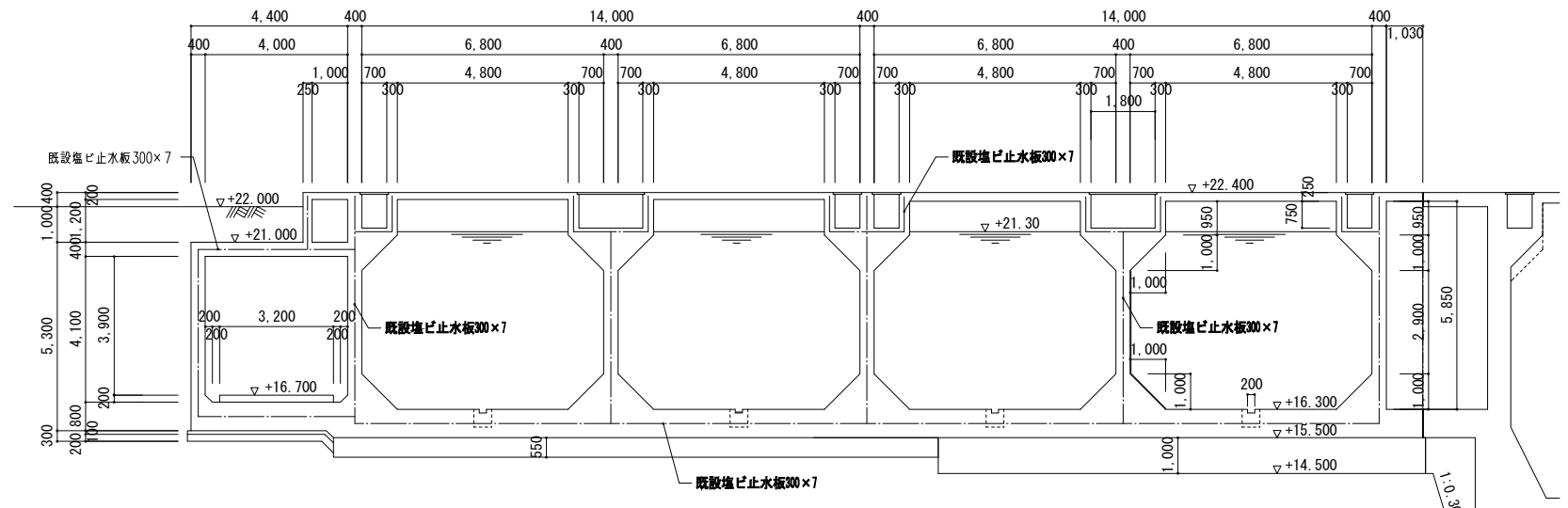
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（2）		
縮尺	1/100	番号	C-14
福岡県流域下水道事務所			

【Exp. J① 改修前】



【D-1】詳細図参照

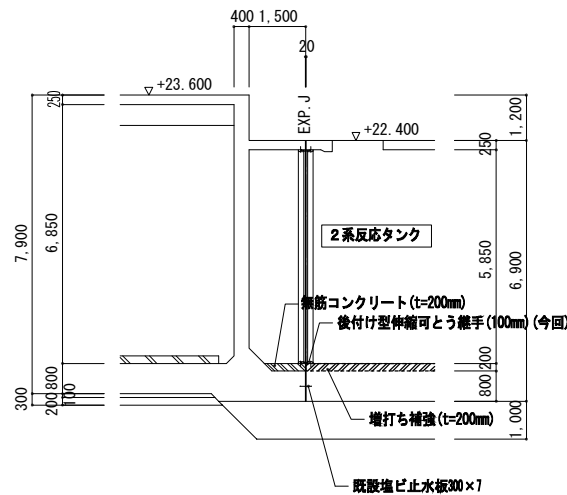
1 - 1 断面図 S=1:100



【D-1】詳細図参照

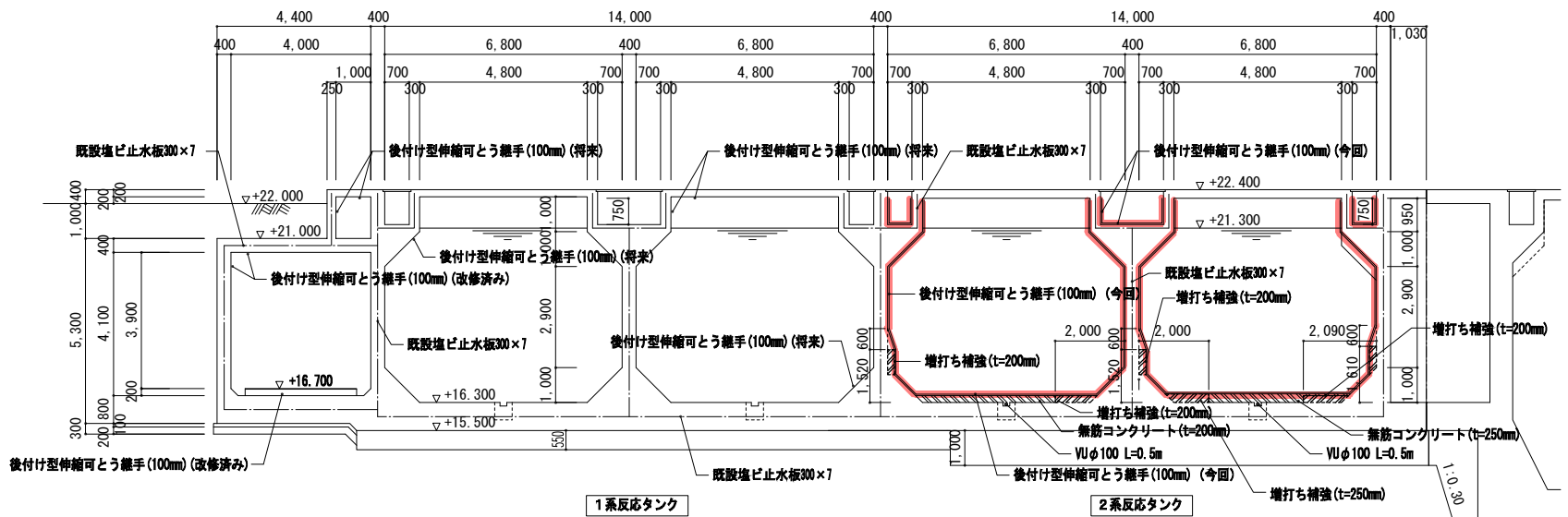
2 - 2 断面図 S=1:100

【Exp. J① 改修後】



【D-1】詳細図参照

1 - 1 断面図 S=1:100



【D-1】詳細図参照

2 - 2 断面図 S=1:100

宝満川流域下水道事業

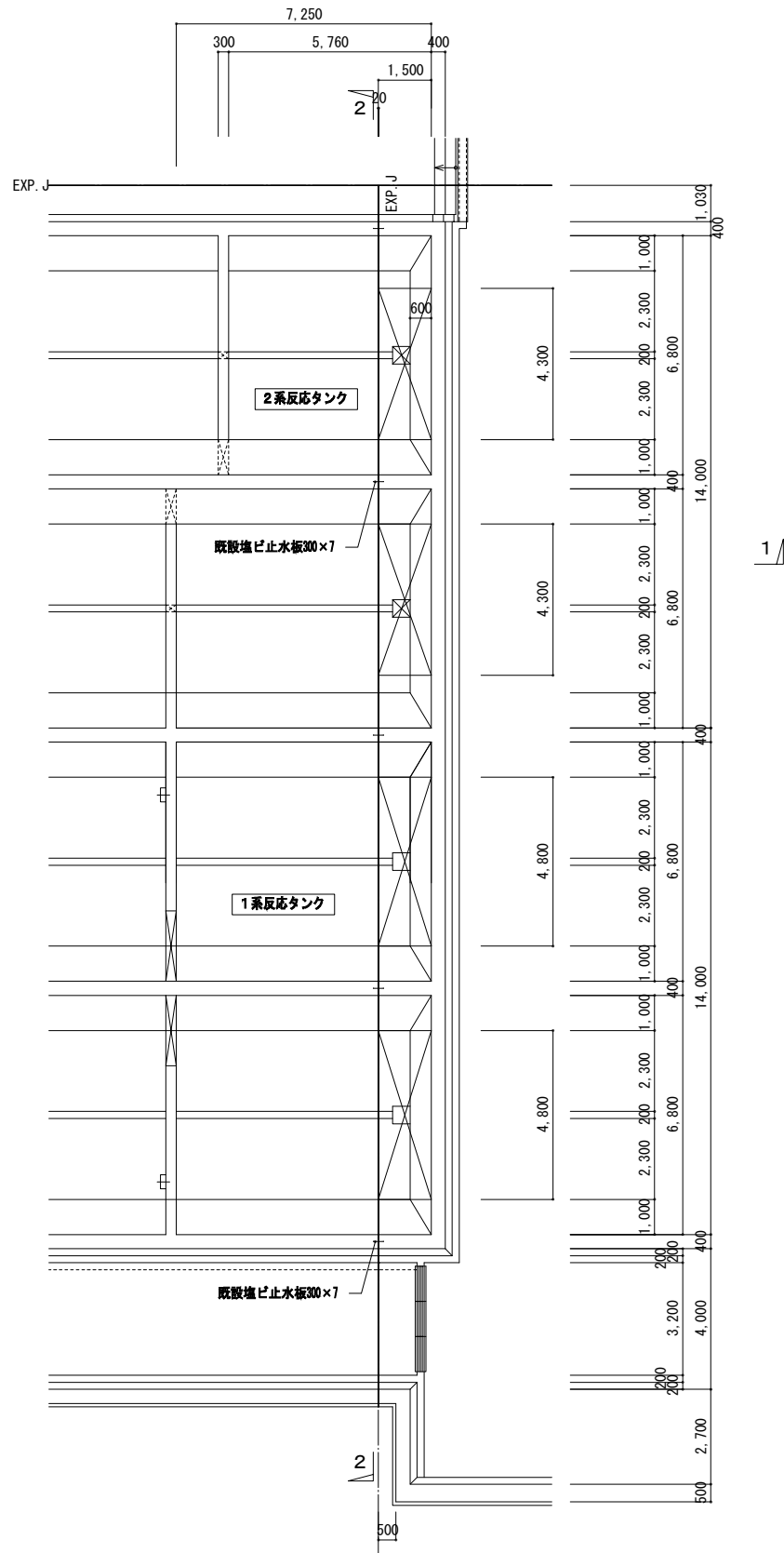
工事名 宝満川浄化センター水処理2系列
反応槽耐震及び防食工事

図面名 伸縮継手改修図 (3)

縮尺 1/100 番号 C-15

福岡県流域下水道事務所

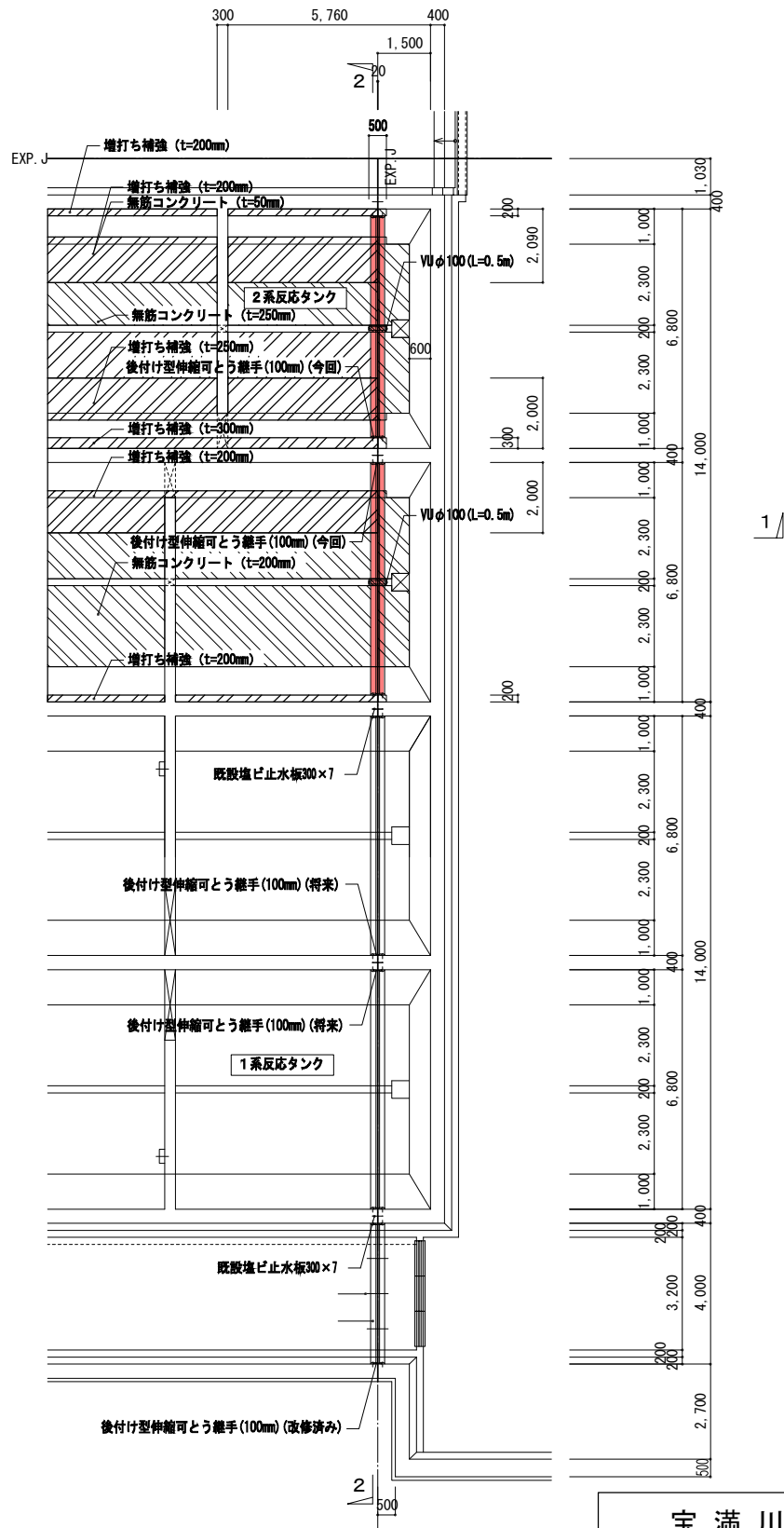
【Exp. J② 改修前】



【D-1】詳細図参照

Exp. J② 地下1階改修前平面図 S=1:100

【Exp. J② 改修後】



【D-1】詳細図参照

Exp. J② 地下1階改修後平面図 S=1:100

宝満川流域下水道事業

工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（4）		
縮尺	1/100	番号	C-16

福岡県流域下水道事務所



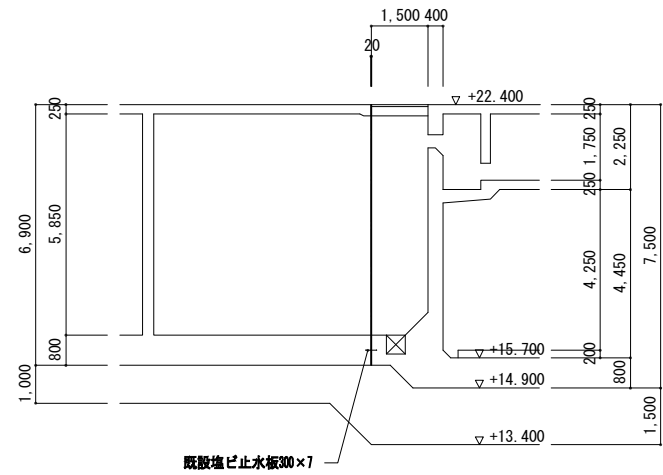
Exp. J② 水路階改修前平面図 S=1:100



Exp. J② 水路階改修後平面圖 S=1:100

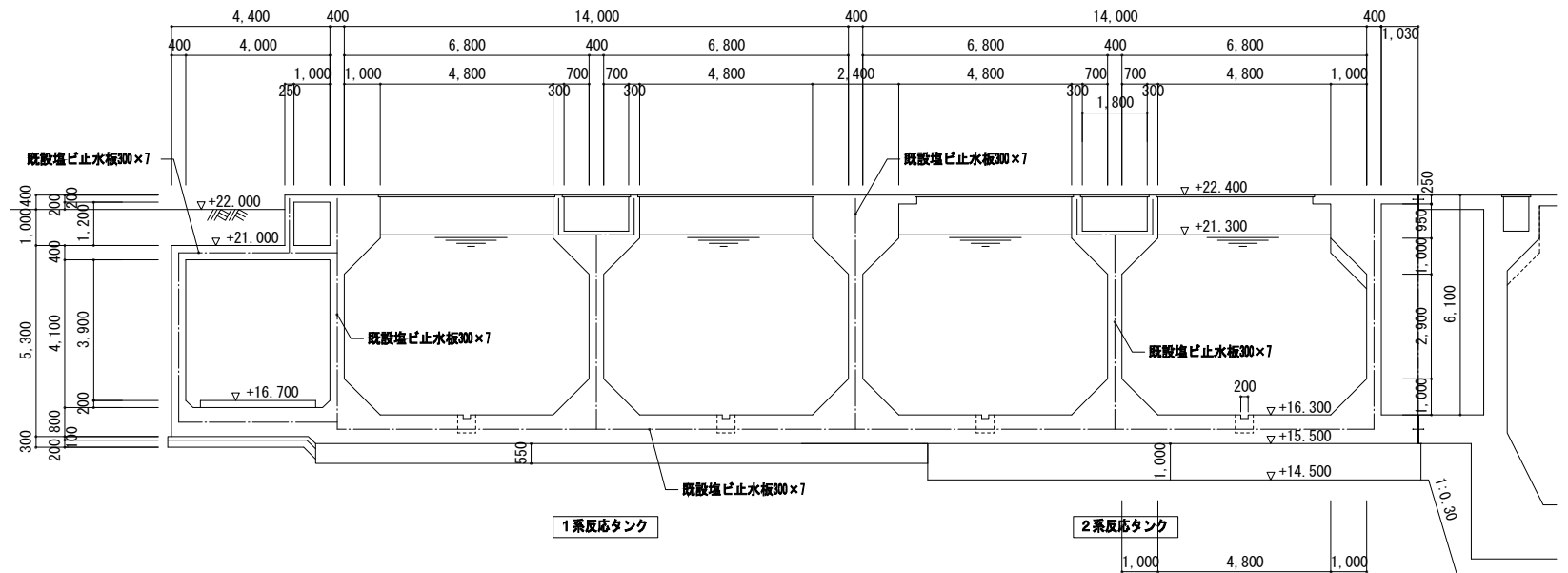
宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	伸縮継手改修図（5）		
縮 尺	1/100	番 号	C-17
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

【Exp. J② 改修前】



【D-1】詳細図参照

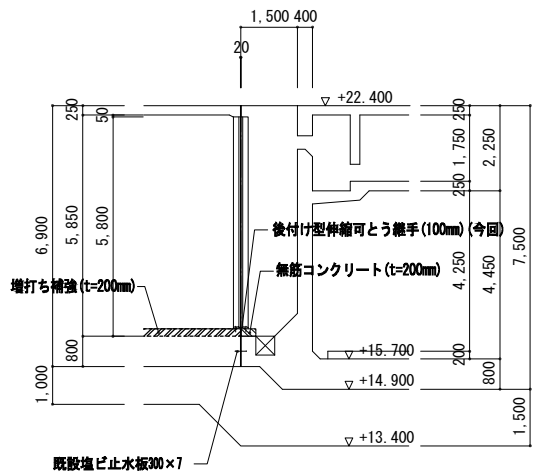
1-1 断面図 S=1:100



【D-1】詳細図参照

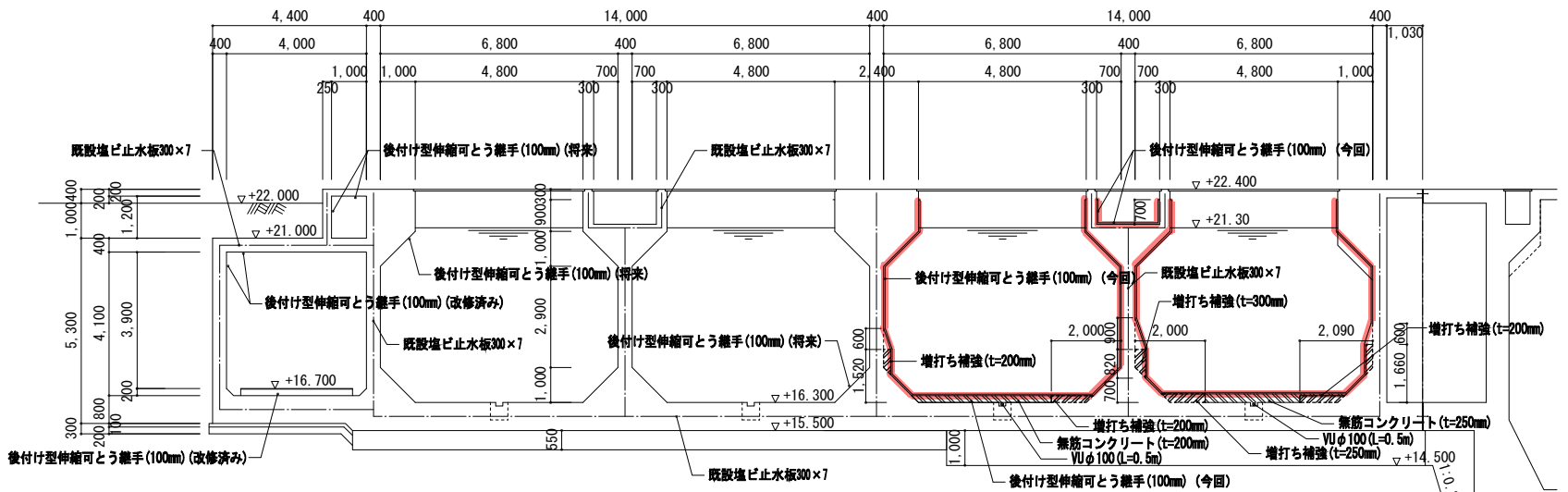
2-2 断面図 S=1:100

【Exp. J② 改修後】



【D-1】詳細図参照

1-1 断面図 S=1:100



【D-1】詳細図参照

2-2 断面図 S=1:100

宝満川流域下水道事業

工事名 宝満川浄化センター水処理2系列
反応槽耐震及び防食工事

図面名 伸縮継手改修図(6)

縮尺 1/100 番号 C-18

福岡県流域下水道事務所

Figure 6 is a technical drawing of a double-headed arrow. The drawing shows the arrow from a side perspective, with dimensions in millimeters. The total length of the arrow is 395 mm. The distance between the centers of the two arrowheads is 275 mm. The distance from the center of each arrowhead to the base of the shaft is 60 mm. The width of the arrowhead is 45 mm, and the width of the shaft is 40 mm. The thickness of the arrowhead is 10 mm. The thickness of the shaft is 20 mm. The drawing is labeled with "基準面 (内側)" (Reference surface (inner side)) and "壁厚" (Wall thickness). A circled number 6 is in the bottom right corner.

品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		RE100E-2型
2	止 水 材	フチルゴム	2		t 3×60
3	押 え 板	SUS304	2組		t 2、50×25×10
4	押 え 金 具	〃	168		t 6
5	接着系アンカー (1)	〃	140		M16×175 (N.W.付)
6	接着系アンカー (2)	〃	28		M16×130 (N.W.付)

使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0.1MPa
内水圧 (W. P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

Technical drawing of a bridge deck cross-section showing two octagonal openings. The drawing includes detailed dimensions for the deck, openings, and reinforcement. Labels indicate "可撓継手 (別図)" (flexible joint, separate drawing) and "増打ち補強 (W=600)" (reinforcement, W=600). The left side shows a "無筋コンクリート新設 (W=600)" (new unreinforced concrete, W=600) section. The right side shows a "増打ち補強 (W=600)" section. The drawing is divided into two main sections by a central vertical line, with dimensions provided for each section.

最初沈殿池側

奥側

EXP. J①

手前側

EXP. J②

最終沈殿池側

1系最初沈殿池側

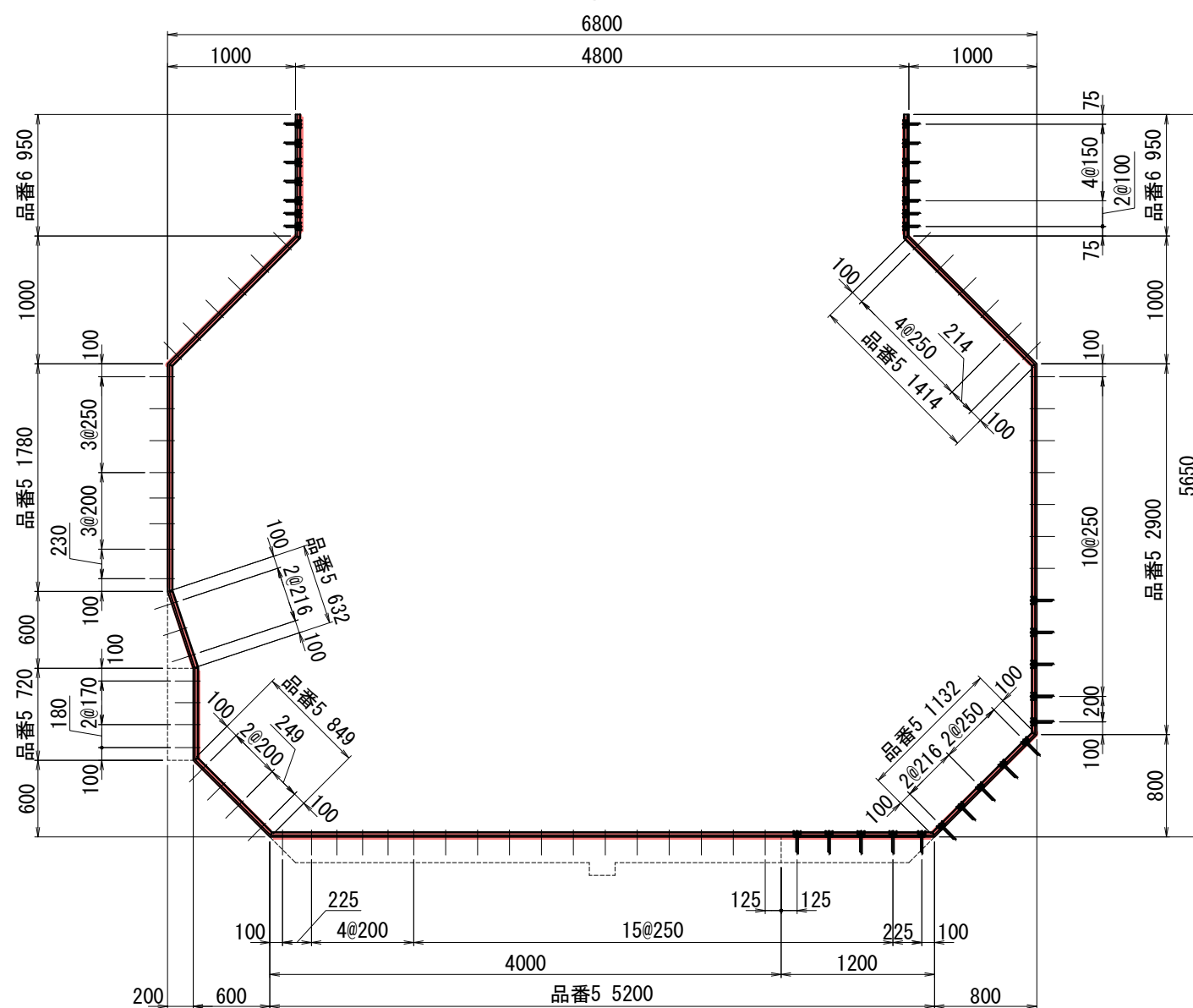
3系最初沈殿池側

↑↑

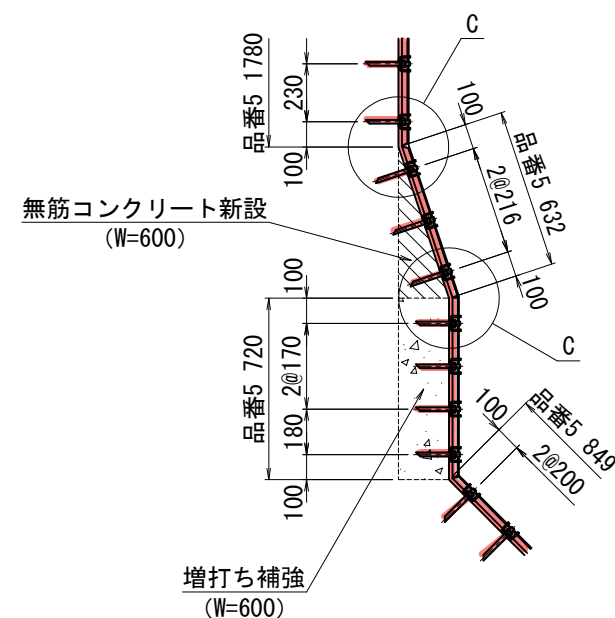
A

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修参考図(1)		
縮尺	図示	番号	C-20
福岡県流域下水道事務所			

継手全体図
(A 視図)

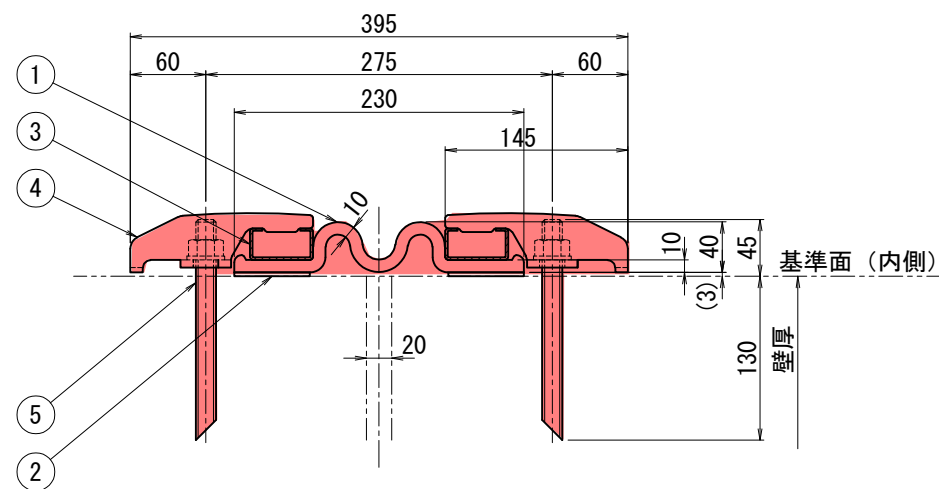


B 部詳細図

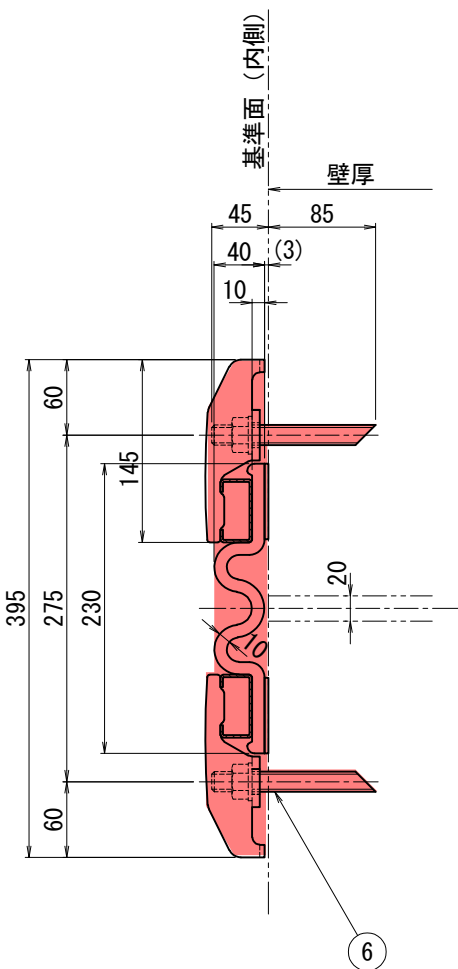


宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修参考図(2)		
縮尺	図示	番号	C-21
福岡県流域下水道事務所			

継手断面図 1



継手断面図 2



品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		RE100E-2型
2	止 水 材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押 え 板	SUS304	2 組		t 2、5 0 × 2 5 × 1 0
4	押 え 金 具	〃	1 7 2		t 6
5	接着系アンカー (1)	〃	1 4 4		M 1 6 × 1 7 5 (N.W. 付)
6	接着系アンカー (2)	〃	2 8		M 1 6 × 1 3 0 (N.W. 付)

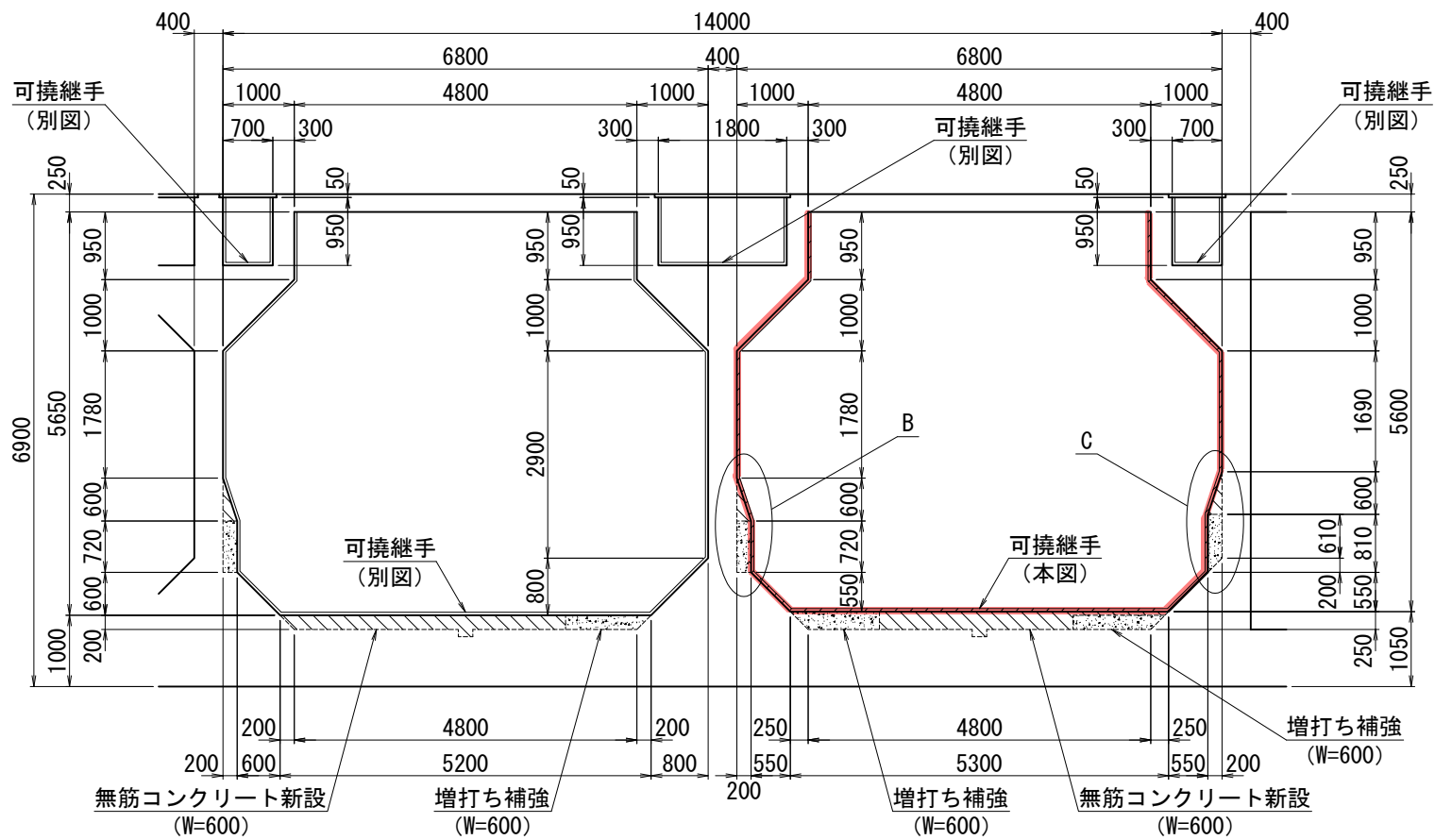
使 用 条 件	
外水圧 (W.P.)	0.1MPa
内水圧 (W.P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

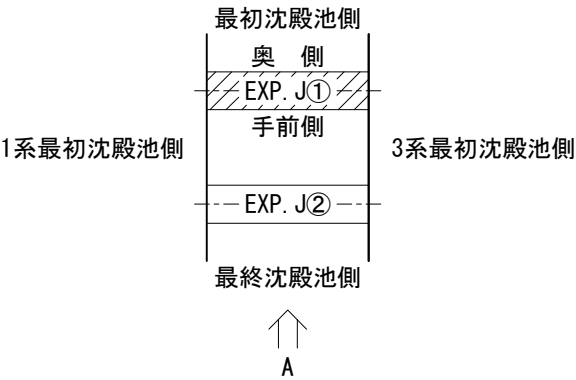
仕 様

- 1. 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
- 2. 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
- 3. 品番1のD部はストレート品を納入し品番3により押え込む為、シワ等が生じる場合がある。
- 4. 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。

取付断面図
(A 視図)



取付平面図



宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修参考図(3)		
縮 尺	図 示	番 号	C-22
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

[illegible]

無筋コンクリート新設
(W=600)

増打ち補強
(W=600)

品番5 1780
230
100
100

品番5 932
100
2@16
100

品番5 720
100
2@170
180
100

品番5 778
100
2@200

D

D

品番 5 632
2@216
100

品番 5 778
2@200
100

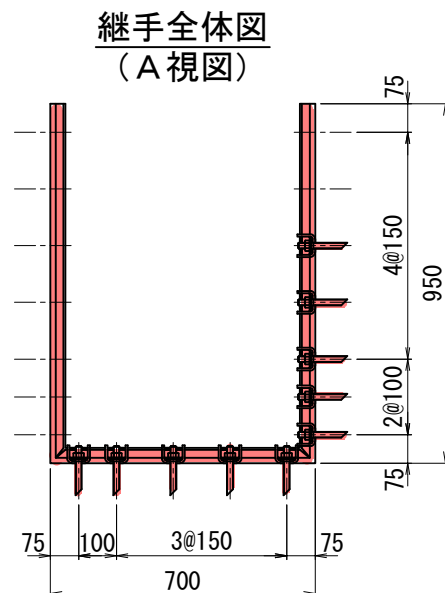
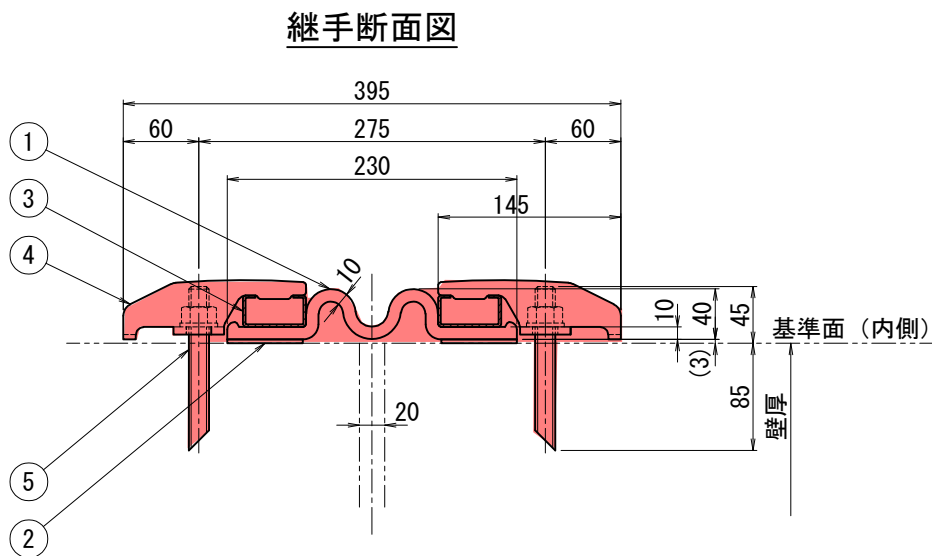
100 240 100 品番 5 1690

100 200 210 品番 5 810

無筋コンクリート新設
(W=600)

増打ち補強
(W=600)

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修参考図(4)		
縮尺	図示	番号	C-23
福岡県流域下水道事務所			



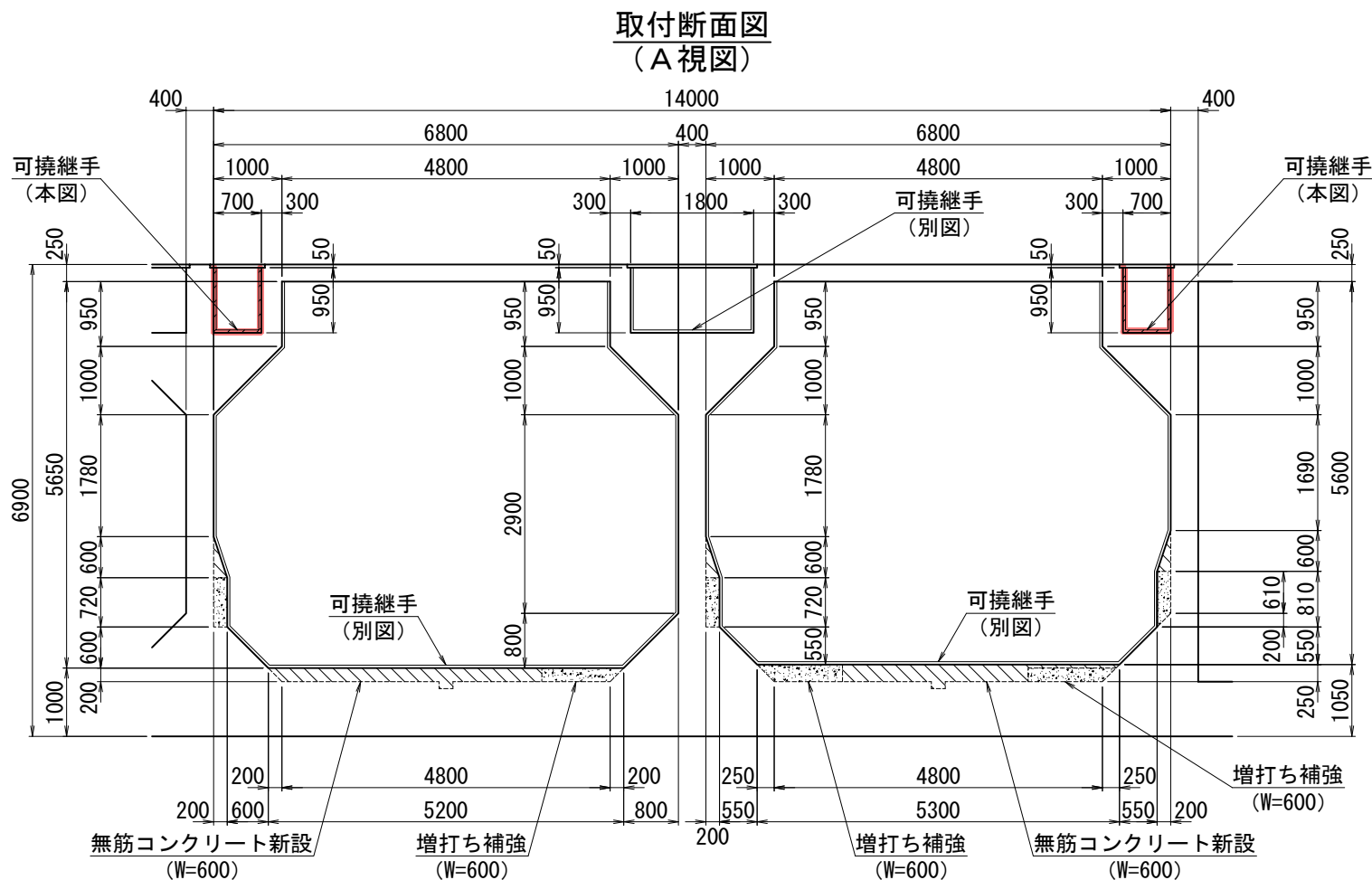
品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		RE 1 0 0 E - 2 型
2	止 水 材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押 え 板	SUS304	2 組		t 2、5 0 × 2 5 × 1 0
4	押 え 金 具	"	3 8		t 6
5	接着系アンカー	"	"		M 1 6 × 1 3 0 (N.W. 付)

使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0. 1MPa
内水圧 (W. P.)	0. 1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

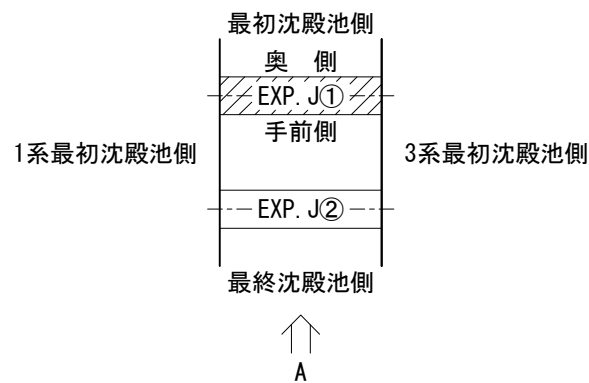
※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

仕 様

- 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
- 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
- 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。

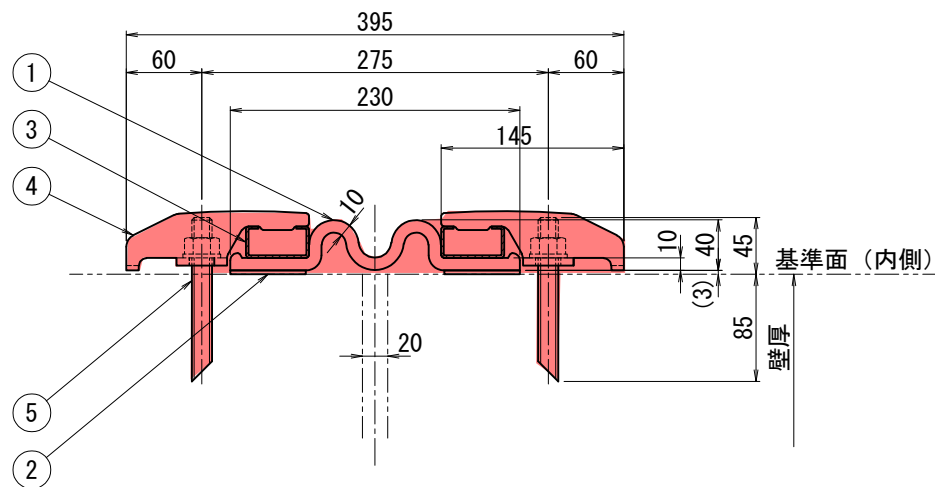


取付平面図

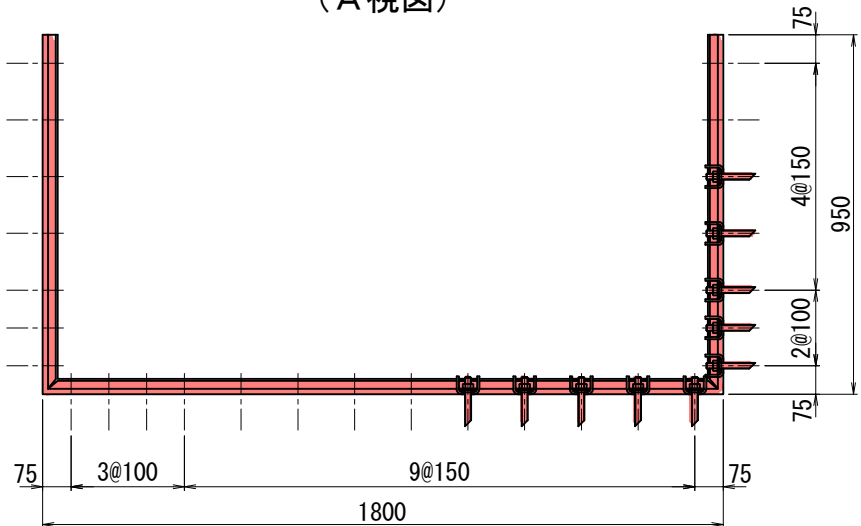


宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修参考図(5)		
縮 尺	図 示	番 号	C-24
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

継手断面図



継手全体図
(A 視図)



品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		RE100E-2型
2	止 水 材	ブチルゴム	2		t 3 × 6 0
3	押 え 板	SUS304	2 組		t 2、5 0 × 2 5 × 1 0
4	押 え 金 具	〃	5 4		t 6
5	接着系アンカー	〃	〃		M 1 6 × 1 3 0 (N.W. 付)

使 用 条 件

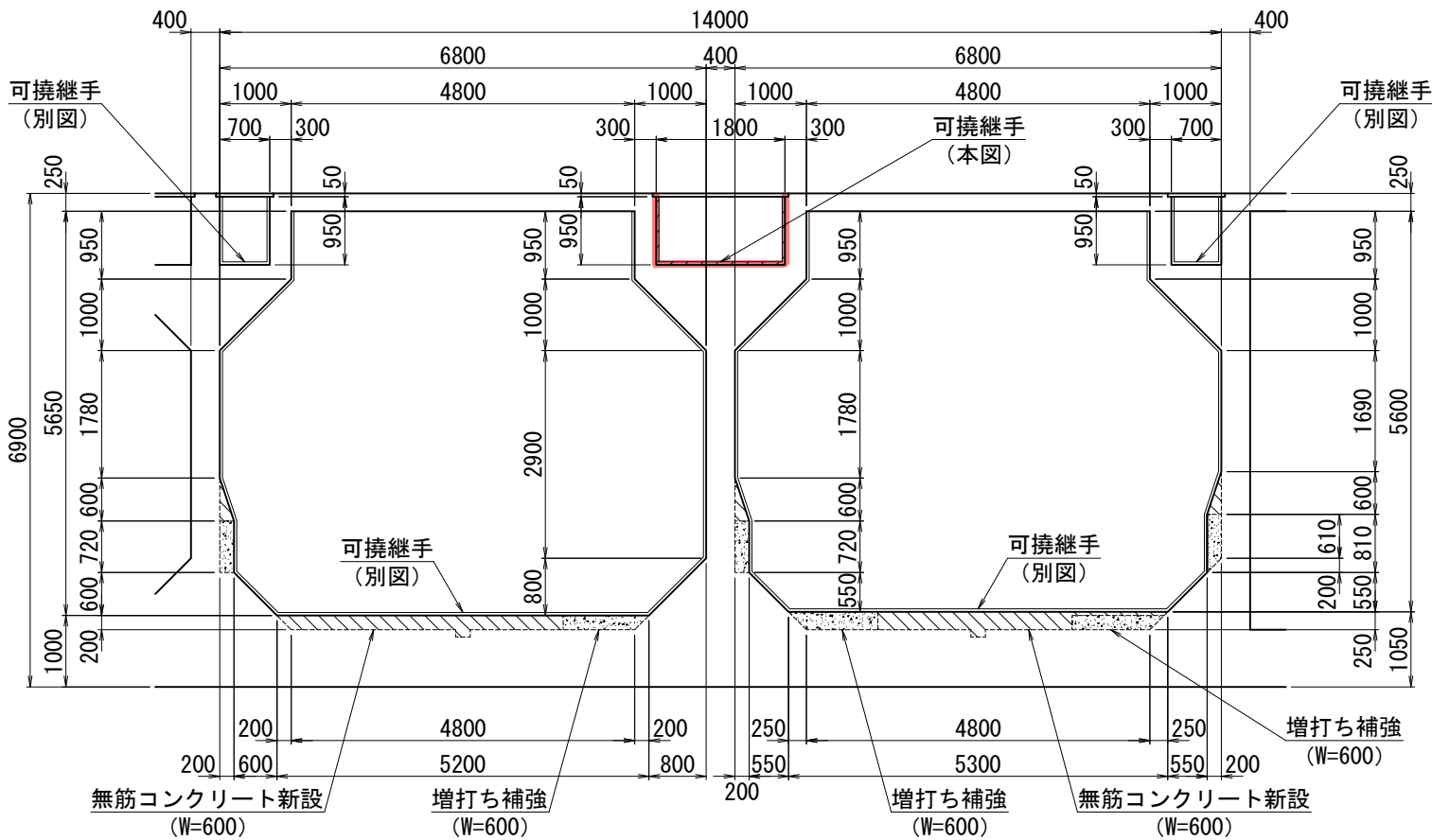
外水圧 (W. P.)	0.1MPa
内水圧 (W. P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

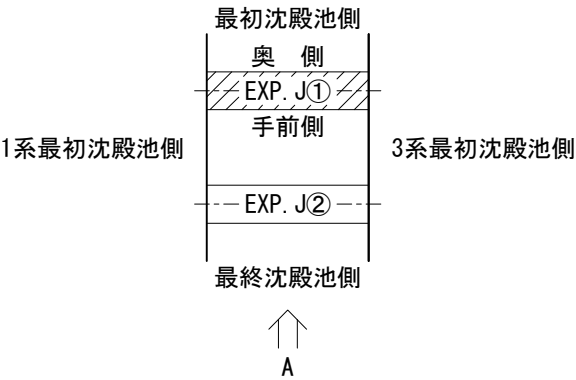
仕 様

- 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
- 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
- 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。

取付断面図
(A 視図)



取付平面図



宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J①改修参考図(6)		
縮 尺	図 示	番 号	C-25
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

Technical drawing showing a cross-section of a concrete wall with a metal bracket. The drawing includes dimensions and callouts:

- Overall width: 395
- Dimensions from left edge: 60, 275, 60
- Dimensions from left edge (bracket center): 230, 145
- Dimensions from right edge (bracket center): 145, 10, 40, 45
- Dimensions from right edge: 130 (wall thickness), 45 (bracket height)
- Dimensions from center line: 20 (bracket width), 10 (bracket height)
- Reference surface (基準面) is indicated on the inner side.
- Callouts 1 through 5 point to specific parts of the bracket and wall.

Technical drawing of a double-headed arrow (Figure 10) showing dimensions and labels. The drawing is oriented vertically with the arrowheads at the top and bottom. The total height is 395. The distance from the top arrowhead to the center of the shaft is 275, and from the bottom arrowhead to the center is 230. The distance between the centers of the two arrowheads is 145. The shaft has a diameter of 20. The arrowheads have a width of 45 at the base, with a 40 wide section of length 10, and a 85 wide section of length 40. The label "基準面 (内側)" (Reference surface (inner)) points to the inner surface of the arrowhead. The label "壁厚" (Wall thickness) points to the thickness of the arrowhead. The label "6" is in a circle at the bottom right.

品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		RE100E-2型
2	止 水 材	ブチルゴム	2		t 3×60
3	押 え 板	SUS304	2組		t 2、50×25×10
4	押 え 金 具	〃	166		t 6
5	接着系アンカー (1)	〃	150		M16×175 (N.W.付)
6	接着系アンカー (2)	〃	16		M16×130 (N.W.付)

使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0.1MPa
内水圧 (W. P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

Figure 1: Schematic diagram of the experimental setup. The diagram shows a vertical cross-section of a water tank. At the top is the '最初沈殿池側' (Initial Sedimentation Tank Side). Below it is a horizontal line labeled 'EXP. J①'. The main body of the tank is labeled '奥側' (Back Side) on the left and '手前側' (Front Side) on the right. A horizontal line labeled 'EXP. J②' is located in the middle. Below this is the '最終沈殿池側' (Final Sedimentation Tank Side). The left side of the tank is labeled '1系最初沈殿池側' (System 1 Initial Sedimentation Tank Side) and the right side is labeled '3系最初沈殿池側' (System 3 Initial Sedimentation Tank Side). At the bottom, there is an upward-pointing arrow labeled 'A'.

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J②改修参考図(1)		
縮尺	図示	番号	C-26
福岡県流域下水道事務所			

Figure 10-10 shows the structural drawing of a reinforced concrete slab. The drawing includes a plan view and a cross-section view. The plan view shows a rectangular slab with a total width of 6800mm and a total length of 5850mm. The slab is divided into several sections with different reinforcement details. The cross-section view shows a slab thickness of 100mm and a total height of 1150mm. The reinforcement details include top and bottom bars with various spacing and diameters.

Plan View Dimensions:

- Total width: 6800mm
- Total length: 5850mm
- Section 1 (Top Left): 1000mm width, 1150mm height, 3@250 reinforcement.
- Section 2 (Top Right): 1000mm width, 1150mm height, 6@150 reinforcement.
- Section 3 (Bottom Left): 1000mm width, 1150mm height, 3@250 reinforcement.
- Section 4 (Bottom Right): 1000mm width, 1150mm height, 6@150 reinforcement.
- Section 5 (Center): 4800mm width, 4800mm height, 15@250 reinforcement.

Cross-section View Dimensions:

- Slab thickness: 100mm
- Total height: 1150mm
- Reinforcement: 4@250 (top), 2@250 (bottom), 2@16 (bottom), 2@250 (bottom).

無筋コンクリート新設
(W=600)

品番 5 1780

230

100

100

2φ16

品番 5 632

100

100

100

品番 5 720

180

2φ170

100

2φ200

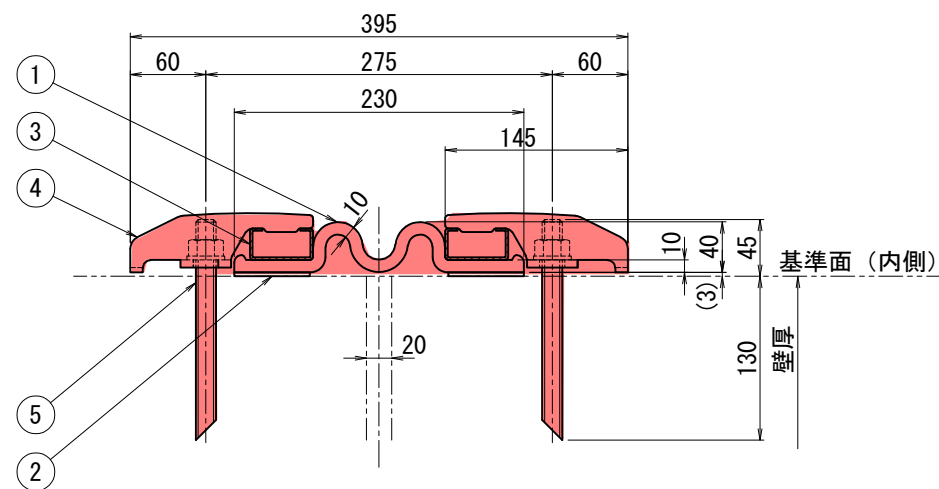
品番 5 849

2φ200

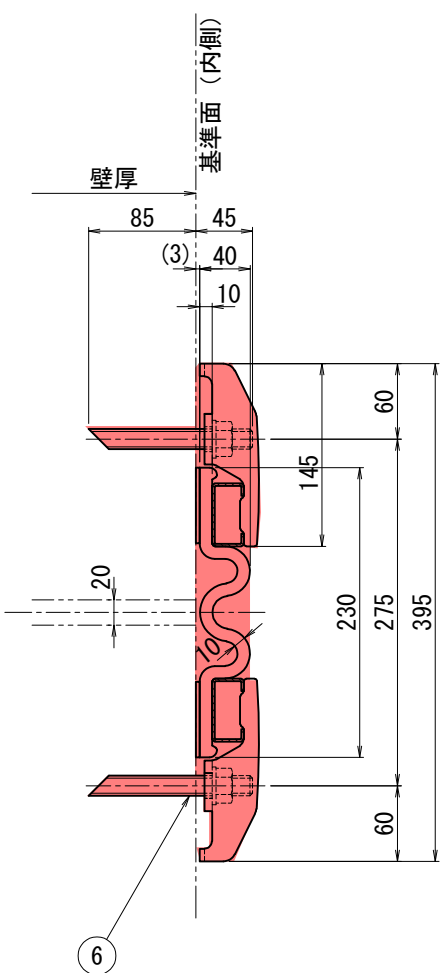
増打ち補強
(W=600)

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J②改修参考図(2)		
縮尺	図示	番号	C-27
福岡県流域下水道事務所			

継手断面図 1



継手断面図 2



品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		RE100E-2型
2	止 水 材	ブチルゴム	2		t 3×60
3	押 え 板	SUS304	2組		t 2、50×25×10
4	押 え 金 具	〃	168		t 6
5	接着系アンカー (1)	〃	152		M16×175 (N.W. 付)
6	接着系アンカー (2)	〃	16		M16×130 (N.W. 付)

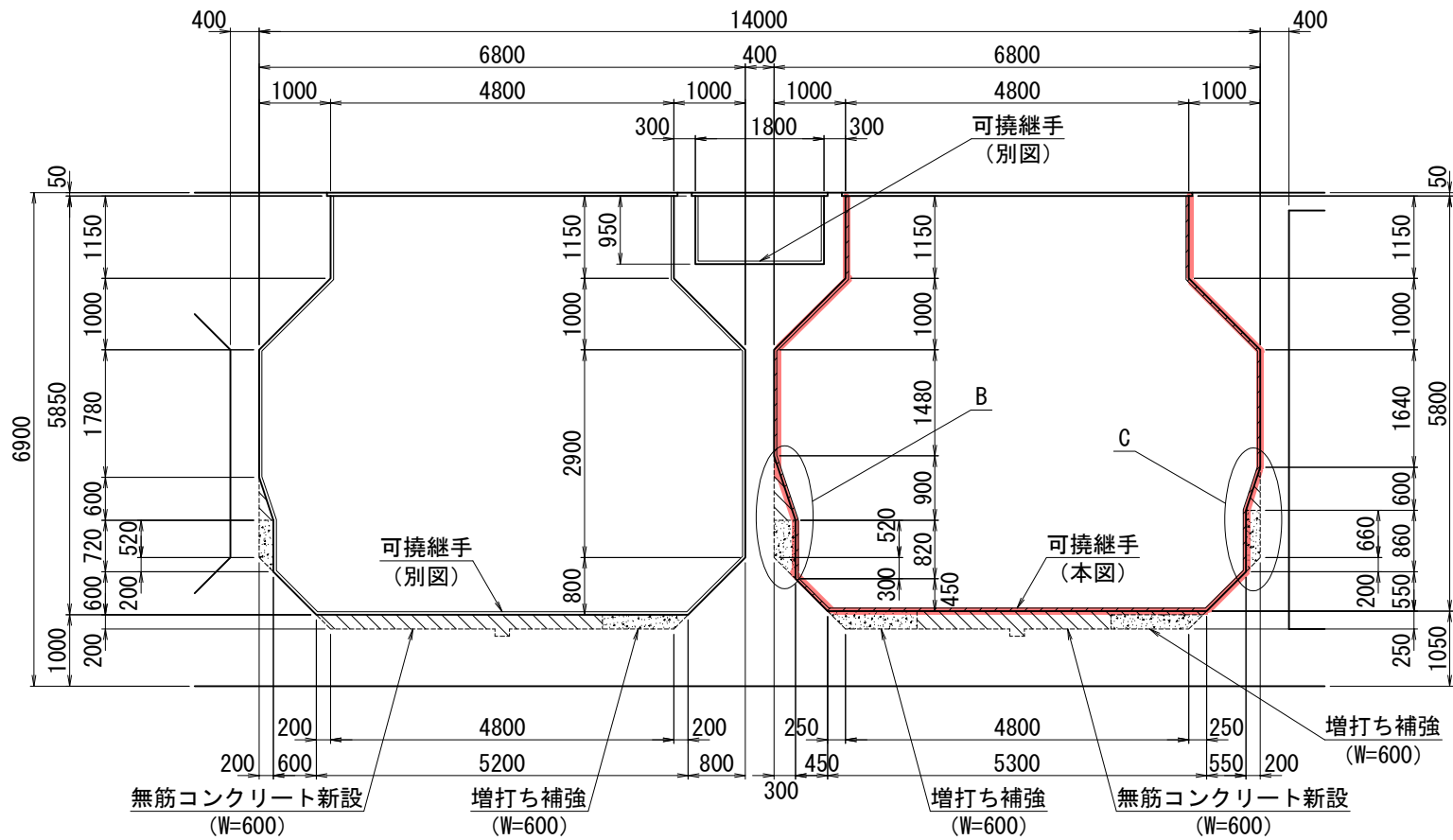
使 用 条 件	
外水圧 (W.P.)	0.1MPa
内水圧 (W.P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行う。

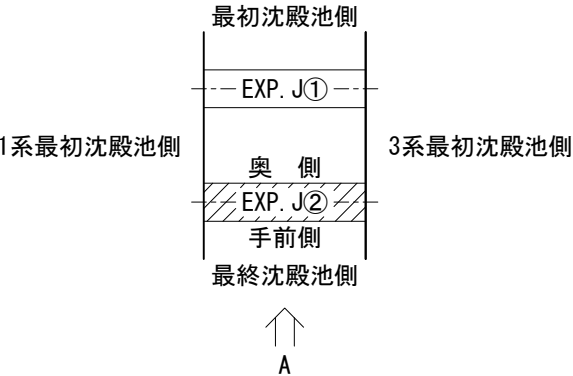
仕 様

- 品番3は施工性を考慮して分割品とする。
- 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修する。
- 品番1のD部はストレート品を納入し品番3により押え込む為、シワ等が生じる場合がある。
- 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となる。

取付断面図
(A 視図)



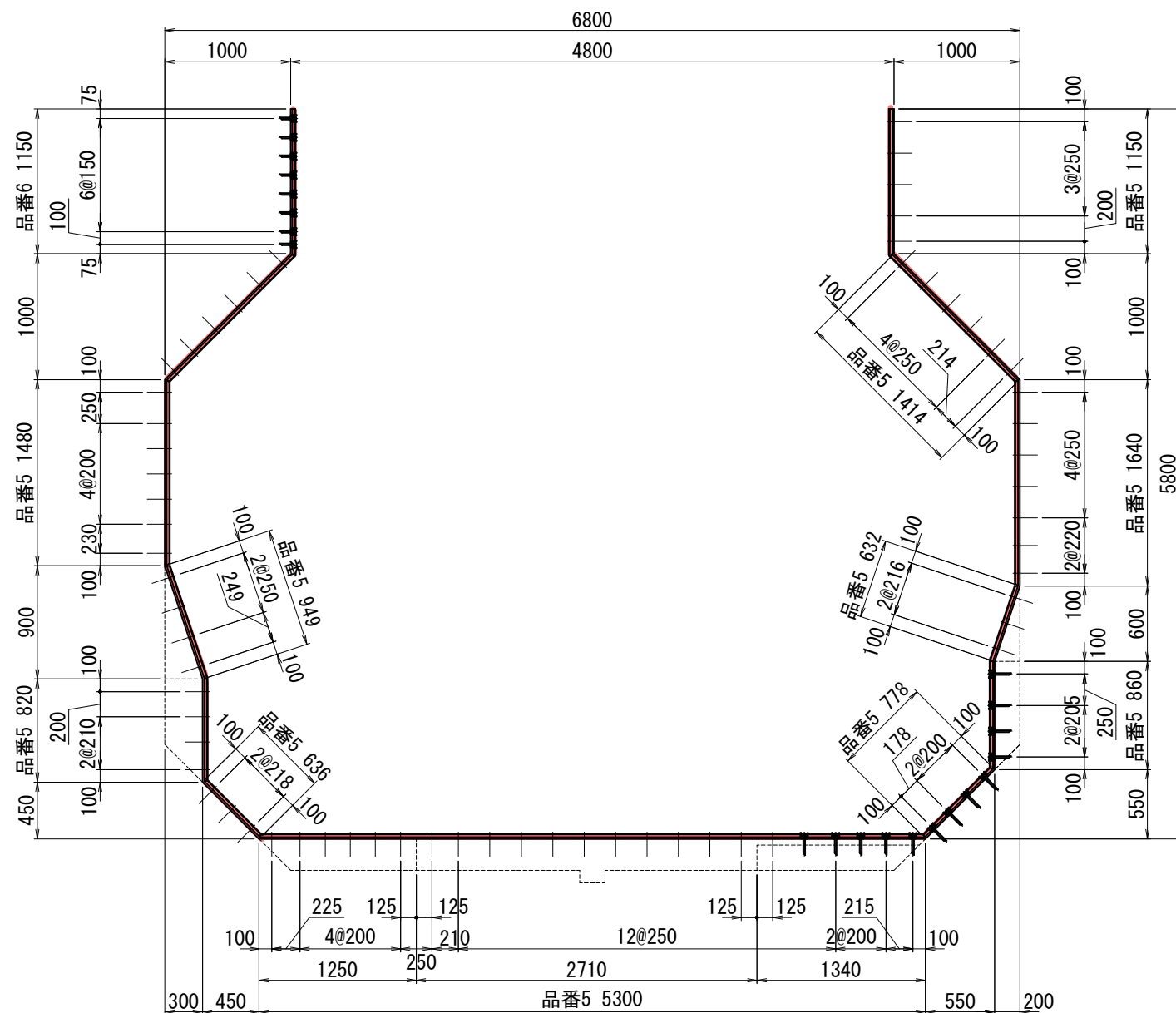
取付平面図



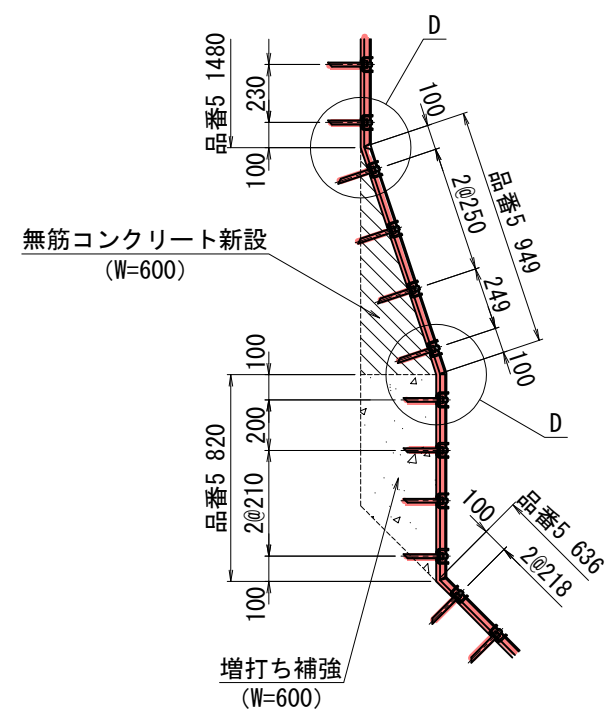
宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業

工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J②改修参考図 (3)		
縮 尺	図 示	番 号	C-28

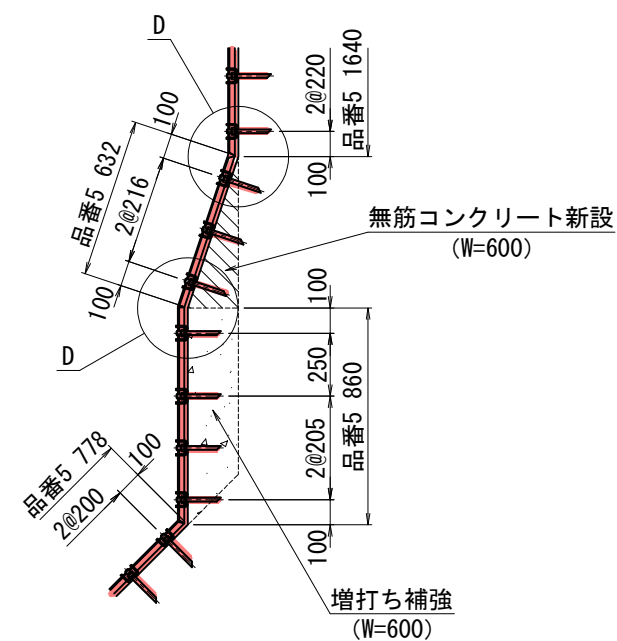
継手全体図
(A 視図)



B 部詳細図



C 部詳細図



宝満川流域下水道事業

工事名 宝満川浄化センター水処理2系列
反応槽耐震及び防食工事

図面名 Exp. J②改修参考図(4)

縮尺 図示 番号 C-29

福岡県流域下水道事務所

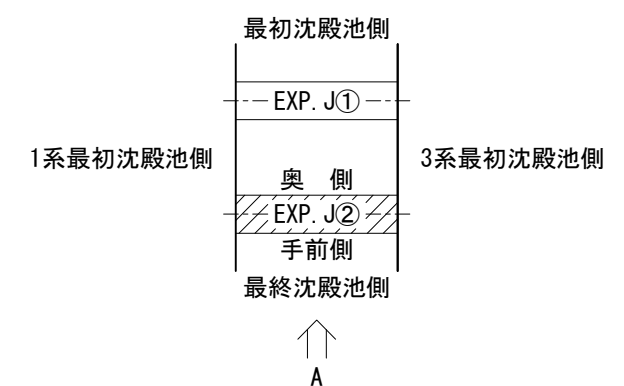
Technical drawing of a red metal bracket with dimensions and callouts:

- Dimensions:**
 - Overall width: 395
 - Distance from left edge to first vertical slot: 60
 - Distance between vertical slots: 275
 - Distance from second vertical slot to right edge: 60
 - Distance from left edge to first horizontal slot: 230
 - Distance between horizontal slots: 145
 - Radius of the central curve: 10
 - Distance from the central curve to the right edge of the bracket body: 20
 - Thickness of the bracket body: 10
 - Height of the bracket body: 40
 - Height of the mounting plate: 45
 - Height of the mounting plate from the base: 85
- Callouts:**
 - ①: Points to the top surface of the bracket body.
 - ②: Points to the bottom surface of the bracket body.
 - ③: Points to the left vertical slot.
 - ④: Points to the right vertical slot.
 - ⑤: Points to the mounting plate.
- Other Labels:**
 - 基準面 (内側): Reference surface (inner side).
 - 壁厚: Wall thickness.

使 用 条 件	
外水圧 (W. P.)	0.1MPa
内水圧 (W. P.)	0.1MPa
伸 び 量	100 mm
沈下量 (偏心量)	100 mm

仕 様

- 取付平面図



Technical drawing of a bridge deck cross-section, showing dimensions and construction details. The drawing is divided into two main sections, each with a width of 6800 mm, separated by a central 400 mm gap. The total width is 14000 mm. The overall height is 6900 mm. The drawing includes various dimensions for the deck, including the width of the deck (6800 mm), the width of the central gap (400 mm), and the height of the deck (6900 mm). It also shows the location of reinforcement bars (rebar) and the placement of concrete (concrete). The drawing is labeled with dimensions in millimeters (mm) and includes a scale of 1:100. The drawing is titled "可撓継手 (本図)" (Flexible Joint (Main Drawing)).

Dimensions (mm):

- Overall width: 14000
- Overall height: 6900
- Deck width (each side): 6800
- Central gap width: 400
- Deck height (each side): 1150
- Deck width (inner): 4800
- Deck height (inner): 1000
- Deck width (outer): 5200
- Deck height (outer): 1150
- Deck width (inner, bottom): 4800
- Deck height (inner, bottom): 1000
- Deck width (outer, bottom): 5200
- Deck height (outer, bottom): 1150
- Deck width (inner, bottom, right): 4800
- Deck height (inner, bottom, right): 1000
- Deck width (outer, bottom, right): 5200
- Deck height (outer, bottom, right): 1150

Construction details:

- 可撓継手 (本図) (Flexible Joint (Main Drawing))
- 可撓継手 (別図) (Flexible Joint (Other Drawing))
- 増打ち補強 (W=600) (Reinforcement (W=600))
- 無筋コンクリート新設 (W=600) (New Reinforced Concrete (W=600))
- 増打ち補強 (W=600) (Reinforcement (W=600))
- 無筋コンクリート新設 (W=600) (New Reinforced Concrete (W=600))

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列 反応槽耐震及び防食工事		
図面名	Exp. J②改修参考図(5)		
縮尺	図示	番号	C-30
福岡県流域下水道事務所			